Panasonic

パーソナルコンピューター
操作マニュアル

品番 CF-A3 シリーズ

もくじ

もくじの項目および文中の緑色表示部にカーソルを移動すると、カーソルがに変わります。
この状態でクリックすると、操作マニュアルの該当ページが表示されます。

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
付属の取扱説明書と本マニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

表記上の規則

Windows 2000	：Microsoft® Windows® 2000 Professionalについての説明です。本書ではWindowsまたはWindows 2000と表記します。
Windows XP	：Microsoft® Windows® XP Professionalについての説明です。本書ではWindowsまたはWindows XPと表記します。
Enter	：キーボードのEnterキーを押します。
Fn + F5	：キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
[スタート]-[検索]	：画面上の「スタート」をクリックした後、「検索」をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
無線LANモジュール内蔵モデル	：無線LANモジュールを内蔵しているモデルのことです。
☞ 『取扱説明書』	：コンピューター本体に付属の『取扱説明書』を参照してください。

● 本書で使用している共通画面は、Windows 2000の画面です。

お願い

● Administratorまたはコンピューターの管理者以外の権限でログオンした場合、実行できない機能があったり、画面の表示が本書と違ったりすることがあります。
　このような場合は、Administratorまたはコンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。

● 別売りの商品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

キーの組み合わせによる操作

お願い

- 以下のキーをトラックボール（外部マウス）を操作しながら、また他のキーと同時に押さないでください。
- MIDIファイル再生中は、以下のキーを押さないでください。MIDIファイルの再生スピードが一時的に遅くなることがあります。そのあと、ノイズが発生した場合には、いったん再生を中止し、再度再生してください。

お知らせ

Windows XP

ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、これらのキー操作が動作しなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

キー	機能		ポップアップウィンドウ
Fn + F1 Fn + F2	LCDの輝度調整（下げる） LCDの輝度調整（上げる）	輝度が変わります。 ACアダプターが接続されている状態と接続されていない状態の明るさを別々に設定できます。	キーを押している間、輝度が下がります。 キーを押している間、輝度が上がります。
Fn + F3	画面表示の切り替え	外部ディスプレイ、LCDまたは同時表示が切り替えられます。（外部ディスプレイが接続されていなくても切り替えられます。） 再起動後は、電源を切る前に表示していた画面に表示されます。 **お願い** 画面表示が完全に切り替わるまで他のキーを押さないでください。	
Fn + F4	音声出力のオン･オフ	音声出力のオン／オフを切り替えます。再起動するか電源を切るとセットアップユーティリティでのスピーカーの設定が有効になります。 **お知らせ** ● このキーの組み合わせでスピーカーをオフにすると、ビープ音も鳴らなくなります。 ● USBコネクターに接続されているスピーカーをミュートすることはできません。	オフ オン
Fn + F5 Fn + F6	音量調整（下げる） 音量調整（上げる）	内蔵スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 **お知らせ** ビープ音およびUSBコネクターに接続されているスピーカーの音量調整はできません。	キーを押している間、音量が下がります。 キーを押している間、音量が上がります。
Fn + F7*	スタンバイ機能を使って電源オフ	現在のコンピューターの状態がメモリーに保存されて電源が切れます。（☞ 7ページ）	
Fn + F9	バッテリーの残量確認	画面にバッテリーの残量が表示されます。（☞ 18ページ）	75% 残量表示(%) バッテリーパックが取り付けられていない場合
Fn + F10*	休止状態機能を使って電源オフ	現在のコンピューターの状態がハードディスクに保存されて電源が切れます。（☞ 7ページ）	
Fn + F12	画面をクリップボードにコピー	画面全体をクリップボードにコピーします。 Fn + Alt + F12 を押すと選択されているウィンドウのみコピーできます。	

* セットアップユーティリティで「Fn+F7/Fn+F10 キー」が「無効」に設定されている場合、このキーを押しても動作しません。

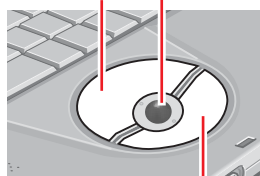
状態表示ランプ

アイコン	名称	説明
	Caps Lock (キャップスロック)	Shift を押しながら Caps Lock を押すと点灯し、アルファベットを大文字で入力できます。
	NumLk (テンキーモード)	NumLk を押すと点灯し、キーボードの一部がテンキーとして機能します。Enter の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
	ScrLk (スクロールロック)	Fn を押しながら ScrLk を押すと点灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
	ハードディスク状態表示	ハードディスクへのアクセス中に点灯します。
	SD メモリーカード状態表示	SD メモリーカードまたはマルチメディアカードへのアクセス中に点灯します。
	バッテリー状態表示	消灯：ACアダプターが接続されていません。またはバッテリーパックの充電は行われていません。 オレンジ色点灯 *1：バッテリーパックの充電中です。 緑色点灯 *1：バッテリーパックの充電完了です。 赤色点灯 *2：バッテリーパックの残量が少なくなりました。（残量約10%以下） 赤色点滅 *1：バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。 オレンジ色点滅 *1：温度が充電可能な温度の範囲外のため充電できません。温度が範囲内になると、自動的に充電が始まります。
	電源状態表示	消灯：電源オフまたは休止状態です。 緑色点灯：電源オンの状態です。 緑色点滅：スタンバイ状態です。

*1 AC アダプター接続時

*2 赤色点灯と同時にビープ音が鳴ります。Windows での設定（19 ページ）に関わらず鳴ります。

トラックボール

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。

トラックボール
前後左右にトラックボールを回転させると、カーソルが任意の方向に動きます。

クリックボタン
メニューの選択などが行えます。前ボタンはマウスの右ボタンと同じ働きをします。後ボタンはマウスの左ボタンと同じ働きをします。

基本的な操作

クリック：
後または前ボタンを押して離す。

ダブルクリック：
後または前ボタンを続けて2 回すばやく押して離す。

ドラッグ：
ボタンを押したまま、トラックボールを回転する。

お知らせ

- 2つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。通常は後ボタンで動作します。
- トラックボールの前後ボタンとマウスの左右ボタンとの対応は、以下の項目で設定できます。
  Windows 2000
  [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]
  Windows XP
  [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]

設定する

MouseWare（マウスウェア）プログラムを使用すると、トラックボールの動作を詳細に設定できます。設定の手順は次のとおりです。

Windows 2000
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [マウス]を選ぶ。

Windows XP
[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス]を選ぶ。

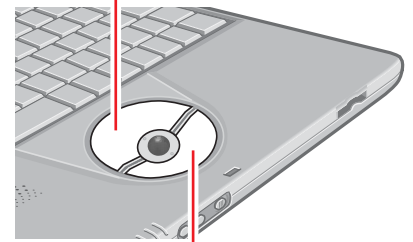
2 「マウスのプロパティ」画面が表示されたら各設定を行う。

主な設定内容

● 「動作」の「スマートムーブ」を設定すると、ダイアログボックスのデフォルトボタンにポインターを自動的に合わせることができます。
工場出荷時には、「スマートムーブ」は設定されていません。

● 「ボタン」では、以下の3とおりについてボタンの機能を設定できます。

1:「後ボタン」を押したとき
2:「前ボタン」と「後ボタン」を同時に押したとき
3:「前ボタン」を押したとき

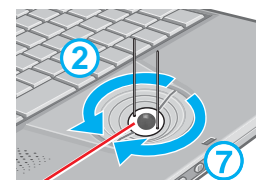
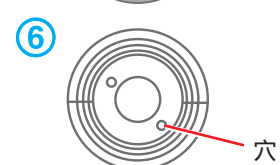
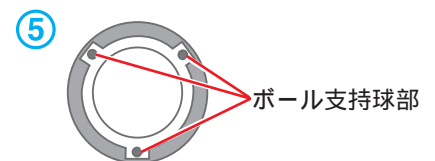
（例）「前ボタン」を「スクロールバー（横）」に設定しておくと「前ボタン」を押すとアクティブウィンドウの横向きのスクロールバーにカーソルが移動します。その後は、クリックボタンを使わずに、トラックボールを回転させるだけで、スクロール操作を行うことができます。
工場出荷時には「1:クリック/セレクト」「2:自動スクロール」「3:コンテキストメニュー/補助ドラッグ」に設定されています。

お願い

● MouseWareがインストールされていると、一部の外部マウスが正常に動作しない場合があります。問題が発生した場合は、下記の項目*で[MouseWare *.**]を削除してください。
MouseWareを再度インストールするには、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で「c:\util\drivers\mouse\setup.exe」と入力して[OK]を選んでください。

* Windows 2000 ：[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]
Windows XP ：[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]

● MouseWareの一部の機能（サイバージャンプなど）は動作しません。

トラックボールのお手入れ

① 本体の電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。
② シャープペンシルの先端（芯が出ていない状態）など先の細いものを2本用意し、カバー上の穴に差し込んでカバーを反時計回りに回す。
③ カバーが少し浮き上がったら、そのままカバーをまっすぐ持ち上げて本体から取り外す。
④ 本体を傾けてトラックボールを取り出す。
⑤ 水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞って、本体側のボール支持球部（3個所）とトラックボールの汚れをやさしくふき取る。
⑥ トラックボールを戻してカバーを図の向きに置き、上からしっかりとはめ込むように押さえる。
⑦ 先の細いものを穴に差し込み、カバーを「カチッ」と音がするまで時計回りに回す。

スタンバイ・休止状態機能

次回、すぐに操作をはじめるために

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使って終了すると、アプリケーションソフトを終了することなく、電源を切ることができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示される（これを「リジューム」という）ので、すぐに操作を始めることができます。

● スタンバイ機能と休止状態機能の違い

機能	状態の保存先	立ち上がり速度	ACアダプターまたはバッテリーパックの接続
スタンバイ	メモリー	速い	必要 （スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや遅い	不要

お知らせ

- 長時間スタンバイ機能を使う場合はACアダプターを接続しておいてください。ACアダプターが接続できない場合は休止状態にしておくことをおすすめします。
- コンピューターの動作を安定させるため、定期的に（1週間に1回程度）、スタンバイ・休止状態機能を使わないでWindowsを終了することをおすすめします。

スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わる

スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わるには、以下の方法があります。
休止状態機能を使用するには、[電源オプション]で設定しておく必要があります。（☞下記「休止状態を使用するための設定」）
工場出荷時は、休止状態が使用できる設定になっています。

- キーの組み合わせによる操作（☞ 3ページ）
- 電源スイッチを使う（☞ 9ページ）
- 終了画面を使う

<スタンバイ機能の場合>

Windows 2000
[スタート]-[シャットダウン]を選び、[スタンバイ]を選んで[OK]を選ぶ。

Windows XP
[スタート]-[終了オプション]を選び、[スタンバイ]を選ぶ。

<休止状態機能の場合>

Windows 2000
[スタート]-[シャットダウン]を選び、[休止状態]を選んで[OK]を選ぶ。

Windows XP
[スタート]-[終了オプション]を選び、Shift を押しながら[休止状態]を選ぶ。

休止状態を使用するための設定

Windows 2000

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]を選ぶ。

2 [休止状態]で、「休止状態をサポートする」にチェックマークを付けて[OK]を選ぶ。

Windows XP

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]を選ぶ。

2 [休止状態]で、「休止状態を有効にする」にチェックマークを付けて[OK]を選ぶ。

スタンバイ・休止状態機能

使用上のお願い

●スタンバイ・休止状態に入る前に

- データを保存してください。
- 外付けのCDドライブ、ハードディスク、ATAカードなどの外部装置からファイルを開いているときは、ファイルを閉じてください。
- リジューム時にはセットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は要求されません。
  セットアップユーティリティのパスワード入力の代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。

  Windows 2000

  1 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定する。
  2 [コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]を選び、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けて[OK]を選ぶ。

  Windows XP

  1 [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選ぶ。
  2 [パスワードを作成する]でユーザーのパスワードを設定する。
  3 [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]を選び、「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けて[OK]を選ぶ。
- 以下の場合、スタンバイ・休止状態に入らないでください。
  実行中のファイルやデータが壊れたり、これらの機能や周辺機器およびWindowsが正常に動作しなくなることがあります。
  - ・フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブ( )、SDメモリーカード(SD)のランプ点灯中（ドライブやカードへのアクセス中）
  - ・オーディオの録音・再生中やMPEGファイルの再生中
  - ・通信ソフトやネットワーク機能使用時
  - ・LANカード（ポート）、SCSIカード、モデムカード（ポート）などを使っている場合
    （スタンバイ・休止状態機能を使ってこれらのカードが正常に動かなくなったときは、コンピューターを再起動してください。）

●スタンバイ・休止状態処理中

スタンバイの場合：電源状態表示ランプが緑色点滅するまで
休止状態の場合　：電源状態表示ランプが消灯するまで

- 以下のことを行わないでください。
  - ・キーボード、トラックボール、電源スイッチに触る
  - ・ACアダプターの抜き挿し
  - ・ディスプレイの開閉

●スタンバイ・休止状態のとき

- 周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。
- スタンバイ状態のときは、電力が消費されています。特に、PCカード（モデムカードなど）をセットしたままの場合、消費電力が増えることがあります。電力の供給がなくなると保持されていたデータが失われますので、ACアダプターを接続しておいてください。

電源スイッチを使う

●設定する

Windows 2000

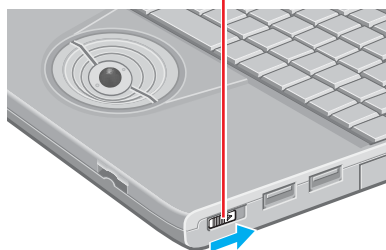
1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]を選ぶ。

2 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を[スタンバイ]または[休止状態]に設定し、[OK]を選ぶ。

Windows XP

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]を選ぶ。

2 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を[スタンバイ]または[休止状態]に設定し、[OK]を選ぶ。

●操作を終わる

電源スイッチをスライドし、ビープ音*が鳴ったら手を離す。

設定に従ってスタンバイ状態または休止状態に入ります。

お願い

- 電源スイッチから手を離した後、電源状態表示ランプが消えるか点滅するまでは、電源スイッチに触れないでください。
- ピッというビープ音*が鳴ったら、すぐに電源スイッチから手を離してください。電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、ピーという長いビープ音の後、スタンバイ・休止状態機能が働かず電源が切れます（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。

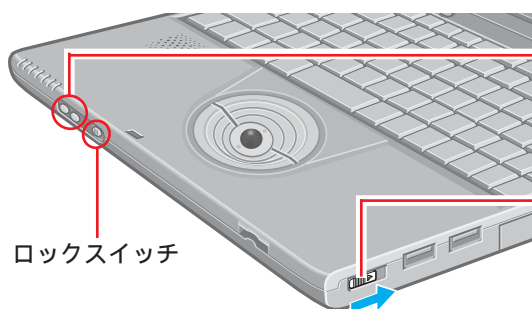
  Windows 2000

  [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]で「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を[電源オフ]に設定していても、電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、ピーという長いビープ音*が鳴って強制的に電源が切れる場合があります（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。

  Windows XP

  [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]で「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を[シャットダウン]に設定していても、電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、ピーという長いビープ音*が鳴って強制的に電源が切れる場合があります（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。

* セットアップユーティリティで「スピーカー」が「無効」に設定されている場合や Fn + F4 を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。

リジュームする

ロックスイッチを左側にスライドして解除し、メールボタンまたはインターネットボタンを押す。

または

電源スイッチをスライドする。

「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を[スタンバイ]または[休止状態]に設定している場合、ディスプレイを閉じるとスタンバイまたは休止状態に入り、ディスプレイを開けるとリジュームします。また、スタンバイまたは休止状態に入った後にディスプレイを閉じたときも、ディスプレイを開けるとリジュームします。リジュームしない場合は、電源スイッチをスライドしてください。

お願い

- Windowsの画面が起動するまで、以下のことを行わないでください。
  - ・キーボード（パスワードの入力は除く）、トラックボール、電源スイッチに触る
  - ・ACアダプターの抜き挿し
  - ・ディスプレイの開閉
- 画面が復帰してしばらくは初期化などが行われており、その間キー操作やトラックボールは動作しません。約15秒間待ってから操作を始めてください。
  この間にWindowsの終了や再起動、およびスタンバイ・休止状態機能を使うと正常に動作しなくなります。

お知らせ

- メールボタンまたはインターネットボタンを押してリジュームしたときは、リジューム後メールボタンまたはインターネットボタンに登録してあるアプリケーションソフトが起動します。（☞ 29ページ）

Windows 2000

- USBフロッピーディスクドライブ（別売り）などのUSB機器を接続したままスタンバイ・休止状態に入り、リジュームすると、「デバイスの取り外しの警告」画面が表示される場合がありますが、ご使用には支障ありません。

セキュリティ機能

データや機器の盗難防止、機密保護を目的としたいくつかのセキュリティ機能を使うことができます。
不測の事態に備えて、このセキュリティ機能を活用することをおすすめします。

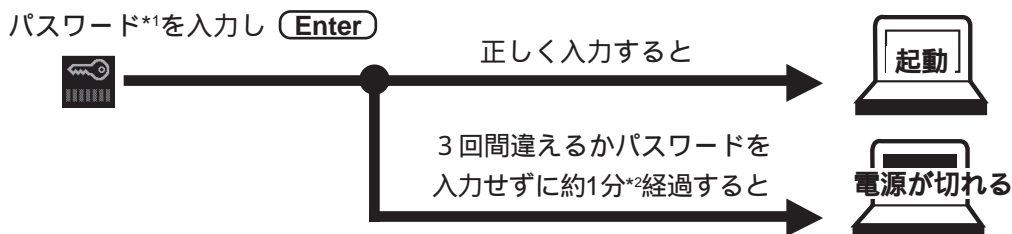
こんなときは	この機能を使う	記載ページ
コンピューターを無断で使用されたくないとき	スーパーバイザーパスワード ユーザーパスワード	☞ 下記
	SDメモリーカードのセキュリティ機能	☞ 36ページ
ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき、またハードディスクの盗難を防ぎたいとき	ハードディスク保護	☞ 14ページ
展示中など、コンピューターの盗難を防ぎたいとき	セキュリティロック	☞ 『取扱説明書』「各部の名称と働き」

お知らせ

セットアップユーティリティのセキュリティ機能とは別に、Windowsのセキュリティ機能があります。詳細については、Windowsのヘルプを参照してください。

コンピューターを無断で使用されたくないとき

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定します。（ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。）パスワードを知らないとコンピューターを起動することができないので、重要なデータの機密保護に有効です。

パスワード*1を設定して、「起動時のパスワード」が「有効」になっている場合

*1 セットアップユーティリティで設定されているスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードです。（Windowsのパスワードではありません。）
*2 セットアップユーティリティを起動した場合は1分を経過しても電源は切れません。

<スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動すると>

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。（☞ 73ページ）

<ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動すると>

- 「詳細」メニューと「起動」メニューのすべての項目が設定できません。
- 「セキュリティ」メニューでは、「起動時のパスワード」と「ユーザーパスワード設定」以外は表示されません。また、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更ができます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。
- 「終了」メニューでは、「ハードディスクリカバリー/消去」が表示されません。
- F9 は使えません。

お知らせ

パスワードを設定していて起動時のパスワードが無効になっている場合、コンピューター起動時にパスワードの入力は不要ですが、セットアップユーティリティ起動時にはパスワードの入力が必要になります。これにより、セットアップユーティリティの内容が変更されるのを防ぐことができます。

スーパーバイザーパスワードを設定する（変更または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する。（☞ 73 ページ）

2 (→)(←)で「セキュリティ」を選ぶ。

3 (↑)(↓)で「スーパーバイザーパスワード設定」を選び、(Enter)を押す。

4 <スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ>

「現在のパスワードを入力してください」の[　　]にパスワードを入力し、(Enter)を押す。

5 「新しいパスワードを入力してください」の[　　]に新しいパスワードを入力し、(Enter)を押す。

- スーパーバイザーパスワードを無効にするとき

何も入力しないで (Enter) を押す。

6 「新しいパスワードを確認してください」の[　　]に手順5で入力したパスワードを再度入力し、(Enter)を押す。

- スーパーバイザーパスワードを無効にするとき

何も入力しないで (Enter) を押す。

7 確認の画面で (Enter)を押す。

8 (F10)を押し、「はい」を選んで(Enter)を押す。

お知らせ

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大7文字です。大文字、小文字の区別はありません。
- (Shift) や (Ctrl) などのキーと組み合わせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードの設定も無効になります。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- パスワードを無断で設定（変更・無効）されないよう、セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

ユーザーパスワードを設定する（変更または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する。（☞ 73ページ）

お知らせ

スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は設定してください。（☞ 12ページ）

2 →←で「セキュリティ」を選ぶ。

3 ↑↓で「ユーザーパスワード設定」を選び、Enterを押す。

4 <ユーザーパスワードが設定されているときのみ>

「現在のパスワードを入力してください」の[　　]にパスワードを入力し、Enterを押す。

5 「新しいパスワードを入力してください」の[　　]に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。

- ユーザーパスワードを無効にするとき

  何も入力しないで Enter を押す。

6 「新しいパスワードを確認してください」の[　　]に手順5で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

- ユーザーパスワードを無効にするとき

  何も入力しないで Enter を押す。

7 確認の画面で Enterを押す。

8 F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。

お知らせ

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大7文字です。大文字、小文字の区別はありません。
- Shift や Ctrlなどのキーと組み合わせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。

- ユーザーパスワードを無断で変更されたくないとき
  以下の手順で、ユーザーパスワード保護を設定してください。
  1 スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動する。
  2 ↑↓で「ユーザーパスワード保護」を選び、 Enterを押す。
  3 ↑↓で「保護する」を選び、Enterを押す。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- パスワードを無断で設定（変更・無効）されないよう、セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。
起動時のパスワードを設定しなくてもハードディスク保護を設定することはできますが、セキュリティのためには、起動時のパスワードも設定しておくことをおすすめします。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。）

お知らせ

- 工場出荷時の設定では、「ハードディスク保護」は「無効」に設定されています。
- スーパーバイザーパスワードが設定されていない場合、「ハードディスク保護」は設定できません。スーパーバイザーパスワードを設定してください。（☞ 12ページ）
- ハードディスク保護の機能は、内蔵ハードディスクのみに働きます。外付けのハードディスクには、この機能は働きません。

ハードディスク保護を設定する（変更または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する。（☞ 73 ページ）

2 [→][←]で「セキュリティ」を選ぶ。

3 [↑][↓]で「ハードディスク保護」を選び、[Enter]を押す。

4 ● ハードディスク保護を有効にするとき
「有効」を選んで[Enter]を押す。
「[重要]お知らせ」の画面が表示されたら [Enter] を押してください。
● ハードディスク保護を無効にするとき
「無効」を選んで[Enter]を押す。

5 [F10]を押し、「はい」を選んで[Enter]を押す。

お願い

本機の修理を依頼される場合
- ご相談窓口にご相談ください。
- 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

省電力機能

省電力の方法

バッテリーで、できるだけ長く使うためには、バッテリーパックをあらかじめ満充電にしておくことがポイントです。
下記の省電力機能を上手に利用しましょう。ACアダプターを接続しているときでも省電力の効果があります。
バッテリーパックの上手な使い方については、デスクトップの バッテリーの上手な使い方 を選んでご覧になることもできます。

- 使わないときは電源を切る（☞ 『取扱説明書』 「操作を始める/終わる」）
- Fn ＋ F1 でディスプレイの明るさを調整（暗く）する
- Fn ＋ F7 または Fn ＋ F10でスタンバイ・休止状態にしてから席を外す
- 省電力機能を使う

  Windows 2000

  [コントロールパネル]-[電源オプション]でタイムアウトなどを詳細に設定し、電力の消費を抑えることができます。

  Windows XP

  [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]でタイムアウトなどを詳細に設定し、電力の消費を抑えることができます。
  [電源設定]で[バッテリの最大利用]を選ぶと、バッテリーでの駆動時間をさらに延ばすことができます。

- Windows 2000

  [コントロールパネル] - [画面] - [設定] - [詳細] - [省電力機能]を[オン]に設定する

  Windows XP

  [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [省電力機能]を[オン]に設定する

  ACアダプター接続時とバッテリーパックのみでの使用時とで自動的に画面表示のパフォーマンスを切り替え、消費電力を抑えることができます。（工場出荷時は[オン]に設定されています。）
  バッテリーのみでの使用時に画面描画処理などが遅く感じられる場合、[オフ]に設定してください。

Windows 2000

- インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレットを使う（☞ 16ページ）

インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレット Windows 2000

インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレットを使用すると、ACアダプター接続時とバッテリーパックのみでの使用時とでパフォーマンスを自動的に切り替え、消費電力を抑えることができます。

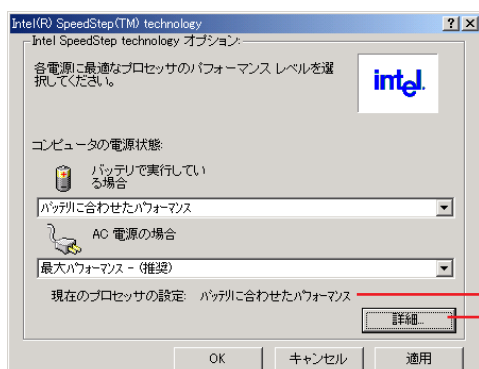
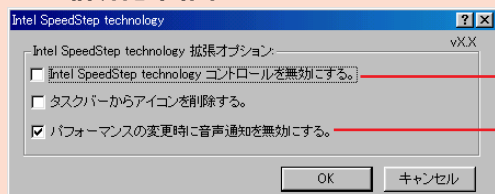
インテル® SpeedStep™テクノロジアプレットを起動する

タスクトレイのをダブルクリックする。

お知らせ

- 現在の設定によってアイコンの形が異なります。
  - 最大パフォーマンス（常に最大パフォーマンス）
  - 自動（必要なときのみ自動的に最大パフォーマンスに切り替わります。）
  - バッテリに合わせたパフォーマンス
  - バッテリの最長寿命
- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[Intel(R) SpeedStep(TM) technology]を選んでも起動することができます。
- 「自動」に設定している場合、サウンド再生時に、ノイズが発生することがあります。この場合、「最大パフォーマンス」または「バッテリに合わせたパフォーマンス」に設定してください。

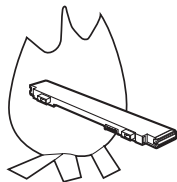
お願い

＜「詳細」画面＞

Intel SpeedStep technology
vX.X
Intel SpeedStep technology 拡張オプション:
☐ Intel SpeedStep technology コントロールを無効にする。 — チェックマークを付けないでください。
☐ タスクバーからアイコンを削除する。
☑ パフォーマンスの変更時に音声通知を無効にする。 — チェックマークを外さないでください。
OK　キャンセル

バッテリーパック

バッテリーパックに関する注意　⚠危険

火中に投入したり加熱したりしない

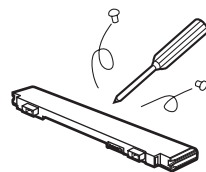
禁止

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

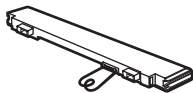
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

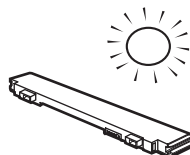
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(-)を金属などで接触させない

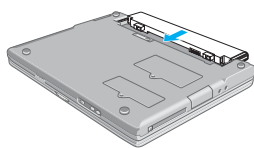
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-A3シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

お願い

- バッテリーパックおよびコンピューターのコネクター部分に触れないようにしてください。コネクターが汚れたり、損傷したりすると、接触が悪くなったり、十分に充電できなかったりすることがあります。
- バッテリーパックをぬらさないでください。
- 本機では過充電を防ぐため、満充電後は電池残量が95%未満にならないと、再充電ができないようになっています。電池残量が95%未満になるまで放電してから充電するようにしてください。
- 長期間（約1か月以上）使わない場合は、バッテリーパックの性能維持のため、3～4割程度の充電状態でコンピューターから取り外し、冷暗所に保管してください。
- 工場出荷時には、バッテリーは充電されていませんので、お使いになる前には必ず充電してください。ACアダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- 万一、破損によって電解液が流出し、目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

お知らせ

- 通常の充電および放電時にも多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- 許容範囲内の温度（5 ℃～35 ℃）で充電してください。範囲外では充電が行われませんので、範囲内になるように、室温を調整するなどしてください。範囲内になると、自動的に充電が始まります。充電時間は、使用条件によって異なります。
- 温度が低いとバッテリーによる動作時間が短くなります。許容範囲内でお使いください。

バッテリーパック

バッテリーの状態を確認する

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
オレンジ色点灯 *1	充電中です。
緑色点灯 *1	充電が完了しています。バッテリーパックは満充電です。
赤色点灯 *2	バッテリーの残量が少なくなりました。(バッテリー残量約10%以下)
赤色点滅 *1	バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。 すぐにACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。この現象が繰り返し起こる場合は、ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色点滅 *1	温度が、充電可能な温度(5℃～35℃)の範囲外のため、充電できません。温度が範囲内になると、自動的に充電が始まります。
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または取り付けていても充電が行われていません。

*1 ACアダプター接続時

*2 赤色点灯と同時にビープ音が鳴ります。Windowsでの設定(☞ 19ページ)に関わらず鳴ります。

バッテリーの残量を確認する

バッテリー残量を確認するには、以下の2つの方法があります。

- Fn + F9 で確認する
- 点滅する状態表示ランプの数で確認する(電源オフ、スタンバイ・休止状態時)(☞ 19ページ)

お知らせ

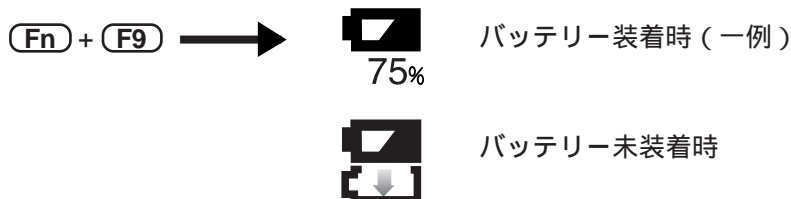
- 以下のような場合、実際の電池残量と表示される電池残量との間に差が生じていることが考えられます。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプのオレンジ色点灯時に「99 %」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらずバッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    ACアダプターを接続せず、長時間スタンバイ状態にしているとこのような状態になります。

  この場合、バッテリーをリフレッシュしてください。(☞ 20ページ)
- Windowsのタスクトレイの残量表示とは異なることがありますが、故障ではありません。

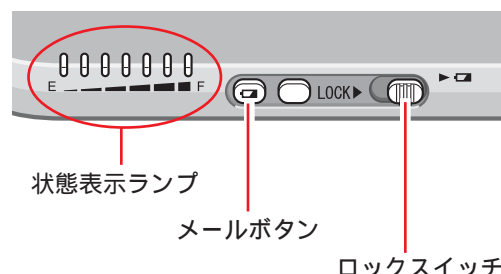
Fn + F9 を押して画面上で残量を確認する

バッテリー装着時(一例)

バッテリー未装着時

バッテリーパック

電源オフまたはスタンバイ・休止状態のときに残量を確認する

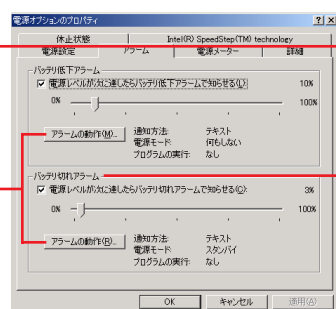
ロックスイッチが右側にスライドされロックされた状態の場合、メールボタンを押すと、状態表示ランプが点滅し、点滅する状態表示ランプの数でバッテリー残量を確認することができます。（ディスプレイを閉じたままでも残量が確認できます。）

点滅するランプの個数	バッテリー残量
0	0 %
1	1 % - 10 %
2	11 % - 25 %
3	26 % - 40 %
4	41 % - 60 %
5	61 % - 75 %
6	76 % - 90 %
7	91 % - 100 %

残量が少なくなってきたら

工場出荷時の設定では次のようになります。

残量が10%になったら （「バッテリ低下アラーム」）	残量が3%になったら （「バッテリ切れアラーム」）
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓ **充電が必要です。** ● すぐにACアダプターを接続してください。ACアダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windowsも終了して電源表示ランプが消えていることを確認してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがあれば、交換してから電源を入れてください。 スタンバイ状態のときは、バッテリーパックの交換は行わないでください。 ● ACアダプターや予備のバッテリーパックがないときは、電源を切ったままにしておいてください。	● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ● Windows 2000 スタンバイ状態になります。 Windows XP 休止状態になります。 ↓ **次回、起動するときはACアダプターを接続してください。** ● ACアダプターを接続しないで電源を入れるとWindowsが正常に起動しなかったり、以降アラーム機能が正常に動作しない場合があります。

上記の設定は変更することができます。

1. Windows 2000
   [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[アラーム]を選ぶ。
   Windows XP
   [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[アラーム]を選ぶ。
2. アラーム機能を動作させる電池残量や警告動作の内容を設定する。
   セットアップユーティリティで「スピーカー」が「無効」に設定されている場合や Fn + F4 を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。

[アラームの動作]で「アラーム後のコンピュータの動作」を設定した場合、「プログラムが応答しない場合でも、スタンバイまたはシャットダウンする」にチェックマークを付けておいてください。

3%以上に設定してください。
設定値が小さいと、バッテリー残量が少なくなったときにスタンバイ・休止状態機能が正常に働かなくなります。

バッテリー容量を正確に表示させるために

本機のバッテリーパックには、バッテリー容量を計測し、記憶・学習するための機能があります。バッテリー残量を正確に表示させるため、以下の手順でこの機能を正しく働かせ、満充電→完全放電→満充電の操作を行ってください。
この操作は、お買い上げ後、一度は行っておいてください。また、長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合も、再度、この操作を行ってください。

1 バッテリーパック装着後、AC アダプターを接続する。

バッテリーパックと AC アダプターを除くすべての周辺機器を取り外してください。

2 「リフレッシュバッテリー」を実行する。

① セットアップユーティリティを起動する。（☞ 73ページ）

② 「終了」メニューの「リフレッシュバッテリー」を選び、 Enter を押す。

③ 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選んで Enter を押す。

バッテリー状態表示ランプが緑色になったら、バッテリーの放電が始まります。満充電状態から、完全放電して自動的に電源が切れるまで、約3.5時間かかります。

お知らせ

リフレッシュバッテリー実行中にコンピューターの電源を切ると（停電やACアダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリーは正しくリフレッシュされません。

3 バッテリー状態表示ランプが緑色になるまで充電する。

充電にかかる時間は以下のとおりです。

電源オン時：	約3.5時間
電源オフ時：	約3.0時間

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、充放電を繰り返しても性能が回復しない場合は新しいものと交換してください。

お願い

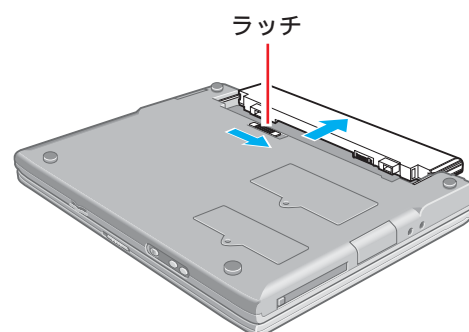
- バッテリーパックおよびコンピューターのコネクター部分に触れないようにしてください。コネクターが汚れたり、損傷したりすると、接触が悪くなったり、十分に充電できなかったりすることがあります。
- 工場出荷時には、バッテリーは充電されていませんので、お使いになる前には必ず充電してください。ACアダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- バッテリーパックに関する注意をご覧ください。（☞ 17ページ）

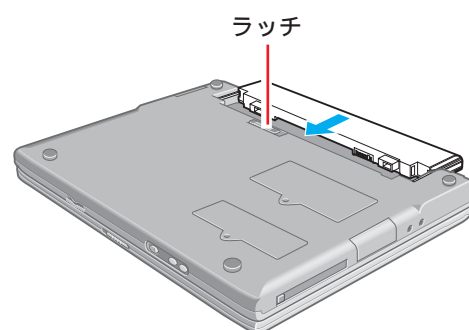
1 スタンバイ機能を使わず操作を終わる。（☞ 『取扱説明書』「操作を始める/終わる」）

お願い

スタンバイ状態のとき、バッテリーパックの取り付け・取り外しを行わないでください。メモリーやハードディスクなどに保持されていたデータが失われたり、バッテリーパックが破損したりして、正常に動作しなくなります。

2 本体を裏返し、バッテリーパックを取り外す。

ラッチを矢印の方向にスライドした状態でバッテリーパックを引き出す。

3 バッテリーパックを取り付ける。

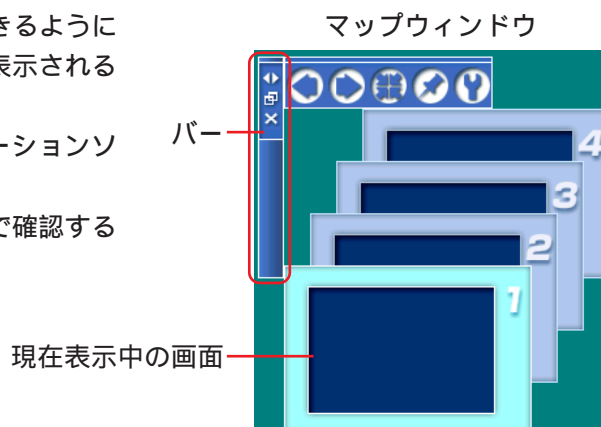
バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせて取り付け、ラッチで固定されていることを確認してください。

お願い

コネクターに確実に挿入してください。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
・最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
詳しくは、社団法人電池工業会にご確認ください。
電話：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp/　（2003年1月現在）

画面切換ユーティリティ

画面切換ユーティリティは、4つの画面を切り替えて使うことができるようにする機能です。画面の切り替えは、画面切換ボタンまたは画面に表示されるマップウィンドウを使って行います。
また、画面の切り替えと同時に、画面に関連付けられたアプリケーションソフトを起動することもできます。
現在表示中の画面は、画面切換ボタン（☞ 23ページ）のランプで確認することができます。

マップウィンドウ
バー
現在表示中の画面

お知らせ

- 画面の切り替えを行うためには、画面切換ユーティリティが起動している（タスクトレイに *が表示されている）ことが必要です。 *が表示されていない場合は、以下のメニューを選んで、画面切換ユーティリティを起動してください。
  Windows 2000 ：[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[画面切換ユーティリティ]
  Windows XP ：[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[画面切換ユーティリティ]
  * アイコンの数字は、表示中の画面の番号を示します。
  Windows XP ：タスクトレイのアイコンが隠れて表示されていないことがあります。この場合、 を押してすべてのアイコンを表示させてください。
- 画面切換ユーティリティを終了すると（Windows終了時を含む）、現在表示中の画面にすべてのウィンドウが集められます。このため、次回画面切換ユーティリティを起動すると、前回と違う画面にウィンドウが表示される場合があります。
- 工場出荷時は、画面の右端にマップウィンドウのバーだけが表示され、カーソルがバーに近づくと、マップウィンドウ全体が表示される設定になっています。バーの で、マップウィンドウを常に表示させるか、カーソルが近づいたときだけ表示させるかを切り替えることができます。
- マップウィンドウの表示位置は、マップウィンドウのバーをドラッグして移動することができます。

画面を切り替える

お知らせ

- 画面解像度の変更や、省電力機能、スクリーンセーバーなどによって画面の状態が変更された場合、アプリケーションソフトによっては別の画面が表示されることがあります。
- アプリケーションソフトの状態によっては、アプリケーションソフトを終了した後、別のアプリケーションソフトが表示されている画面に切り替わる場合があります。
- スクリーンセーバー起動中、画面切り替えはできません。
- 画面上にアプリケーションソフトのウィンドウが表示されなくなった場合やタイトルバーが隠れてしまった場合、またウィンドウが表示されていても位置などが正しくない場合は、以下の手順に従ってください。
  1 タスクバーのアプリケーションソフト名を前ボタンでクリックし、[移動]を選ぶ。
  2 カーソルキー（←、↓、↑、→）を1回押して、トラックボールでカーソルを動かす。
  3 適当な位置に表示されたら、後ボタンをクリックする。

Windows 2000

- タスクバーの を選んですべてのウィンドウを最小化した場合、元のサイズに戻したウィンドウが別の画面に表示されることがあります。

Windows XP

- [ユーザーの切り替え]を行った場合、ウィンドウが別の画面に表示されることがあります。

画面切換ユーティリティ

画面切換ボタンを使って切り替える

表示させたい画面の画面切換ボタンを押す。

お知らせ

- 画面切換ボタンを使って画面を切り替えるには、USERボタンモニターが起動している（タスクトレイに*が表示されている）ことが必要です。*が表示されていない場合は、以下のメニューを選んで、USERボタンモニターを起動してください。
  Windows 2000 ：[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[USERボタンモニター]
  Windows XP ：[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[USERボタンモニター]
- 画面切換ボタンを1秒以上押すと、そのボタンに関連付けられたアプリケーションソフトが起動します。
- タスクバーのアプリケーションソフト名をクリックしても、そのウィンドウが開かれている画面に切り替えることができます。
- 省電力設定により画面の表示が消えている場合、画面切換ボタンを押しても画面は真っ暗のままです。（画面は切り替わっています。）
- リソースが不足している状態では、画面切換ボタンを使って画面を切り替えることができない場合があります。
- 注意や警告などのメッセージが表示されているときは、画面切換ボタンを使って画面を切り替えることができません。

マップウィンドウを使って切り替える

1 マップウィンドウが表示されていない場合は、タスクトレイの * を前ボタンでクリックし、「マップウィンドウ表示」を選ぶ。

2 マップウィンドウ上で、表示させたい画面を選ぶ。

お知らせ

- マップウィンドウの中に表示されたアプリケーションソフト名（ウィンドウ名）を選ぶと、画面が切り替わった後、クリックされたアプリケーションソフトが一番手前に表示されます。
- タスクトレイの *を選ぶことによっても、画面を1→2→3→4→1の順に切り替えることができます。

* Windows XP ：タスクトレイのアイコンが隠れて表示されていないことがあります。この場合、を押してすべてのアイコンを表示させてください。

画面を切り替えてアプリケーションソフトを起動する

起動したいアプリケーションソフトの画面切換ボタンを1秒以上押す。

画面が切り替わり、その画面に関連付けられたアプリケーションソフトが起動します。

お知らせ

- 工場出荷時には、以下のアプリケーションソフトが登録されています。
  - ・画面1：なし
  - ・画面2：なし
  - ・画面3：ペイント
  - ・画面4：ワードパッド

  よく使うアプリケーションソフトを登録しておくと便利です。
  （☞ 下記「各画面にアプリケーションソフトを関連付ける」）
- アプリケーションソフトがすでに別の画面で起動していた場合、そのアプリケーションソフトが起動している画面に切り替わることがあります。

画面切換ボタン

各画面にアプリケーションソフトを関連付ける

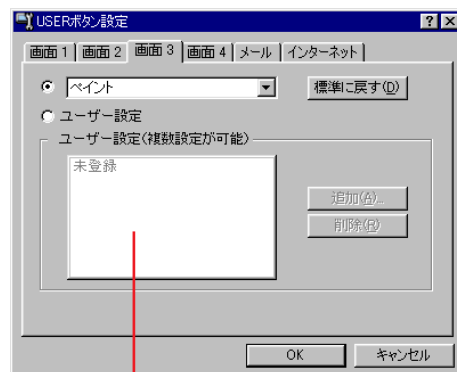
1 タスクトレイの * を選び、[USERボタンの設定]を選び、画面1～4のいずれかを選ぶ。

* Windows XP ：タスクトレイのアイコンが隠れて表示されていないことがあります。この場合、を押してすべてのアイコンを表示させてください。

2 ●登録する

[ユーザー設定]を選んで、[追加]を選び、アプリケーションソフトを選ぶ。
または、エクスプローラなどから登録ボックスにファイルをドラッグ&ドロップする。

お知らせ

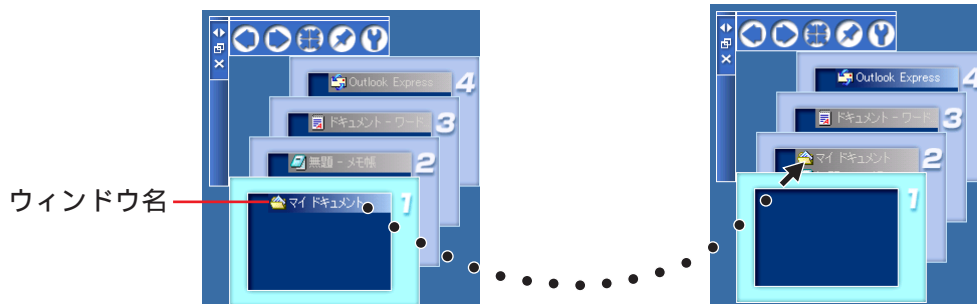
以下の拡張子が付いているファイルを登録できます。
ただし、ファイルによっては登録できないものもあります。
- ・EXE（実行ファイル）
- ・LNK（各種ファイルへのショートカット）

登録ボックス

●削除する

[ユーザー設定]を選んで、登録ボックス内のアプリケーションソフトを選び、[削除]を選ぶ。

3 [OK]を選ぶ。

ウィンドウを別の画面に移動する

マップウィンドウのウィンドウ名を目的の画面の上にドラッグし、ボタンを離す。

お知らせ

- アプリケーションソフトで保存のためのファイル選択ウィンドウなどが開かれている場合、それらのウィンドウも同時に目的の画面に移動します。
- マップウィンドウの外にドラッグすると、現在表示中の画面にウィンドウが移動します。
- Windows Media™ Playerが起動しているとき、この機能は使えません。

ウィンドウを別の画面に移動し、移動先の画面に切り替える

1 移動したいウィンドウを一番手前に表示させておく。

2 マップウィンドウの◀▶を選んで、目的の画面を選ぶ。

お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフト自体の機能によって元の画面に戻ってしまうことがあります。
- アプリケーションソフトで保存のためのファイル選択ウィンドウなどが開かれていた場合、そのアプリケーションソフトのウィンドウすべてが目的の画面に移動し、移動先の画面が表示されます。
  アプリケーションソフトによっては、指定されたウィンドウだけが移動することもあります。
- ◀▶を連続して素早くクリックすると、ウィンドウが正しく移動しないことがあります。
- 画面切換ユーティリティの「環境設定」または「バージョン情報」が表示されているときは◀▶の機能は働きません。
- 以下の方法でも、ウィンドウを別の画面に移動し、移動先の画面に切り替えることができます。
  1. 移動したいウィンドウのタイトルバー*をドラッグする。（ボタンはまだ離さない）
  2. 画面切換ボタンを押して目的の画面を表示し、ボタンを離す。
     または、マップウィンドウ中の目的の画面上にカーソルを移動し、画面が切り替わるまでボタンを押したままにしておき、画面が切り替わったらウィンドウを表示させたい位置にカーソルを移動して、ボタンを離す。

  * ウィンドウ上端のアプリケーションソフト名などが表示されている部分

画面切換ユーティリティ

文字列などを別の画面のアプリケーションソフトにコピーまたは移動する

ドラッグ＆ドロップで文字列や画像のコピーまたは移動ができるアプリケーションソフト間では、文字列などを別の画面のアプリケーションソフトにコピーまたは移動することができます。

1 コピーまたは移動したい文字列や画像を選択し、ドラッグする。（ボタンはまだ離さない）

2 画面切換ボタンを押して目的の画面を表示し、コピー先または移動先のウィンドウにカーソルを移動して、ボタンを離す。

または、マップウィンドウ中の目的の画面のウィンドウ上にカーソルを移動し、画面が切り替わるまでボタンを押したままにしておき、 画面が切り替わったら目的のアプリケーションソフト上にカーソルを移動して､ボタンを離す。

すべてのウィンドウを現在の画面に集める

各画面で開いているウィンドウをすべて、表示中の画面に集めることができます。

マップウィンドウの を選ぶ。

ウィンドウをどの画面にも表示させる（常時表示）

どの画面でも使用したいウィンドウがある場合、どの画面に切り替えても表示されるように設定しておくと便利です。

●設定する

1 常時表示させたいウィンドウ名をマップウィンドウの一番手前の画面の一番上に表示させておく。

2 マップウィンドウの を選ぶ。

指定したウィンドウ名の先頭に が表示されます。

お知らせ

- マイコンピュータとマイドキュメントなど同じ種類のアプリケーションソフトのウィンドウは、一方のウィンドウを常時表示に設定するともう一方のウィンドウも常時表示されるようになります。
- アプリケーションソフトによっては、起動し直すと常時表示が解除されていることがあります。
- 画面切換ユーティリティの「環境設定」または「バージョン情報」を表示している場合、これらのウィンドウは常時表示となります。また、この場合は、他のウィンドウを常時表示に設定することはできません。
- 常時表示に指定できるアプリケーションソフトは約90個*です。これ以上指定すると、使用頻度の低いアプリケーションソフトから順に常時設定が解除されます。

  * アプリケーションソフトによっては指定できる数が減ることがあります。

●解除する

1 常時表示を解除したいウィンドウ名をマップウィンドウの一番手前の画面の一番上に表示させておく。

2 マップウィンドウの を選ぶ。

常時表示を解除されたウィンドウは、現在表示されている画面にだけ表示されるようになります。

お知らせ

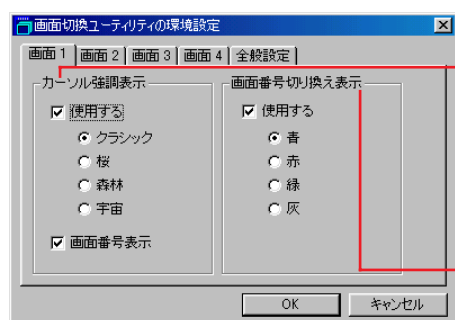
- マイコンピュータとマイドキュメントなど同じ種類のアプリケーションソフトのウィンドウは、一方のウィンドウに対して常時表示を解除すると、もう一方のウィンドウも常時表示が解除されます。
- 画面切換ユーティリティの「環境設定」または「バージョン情報」が表示されている場合、常時表示の解除はできません。

動作環境を設定する

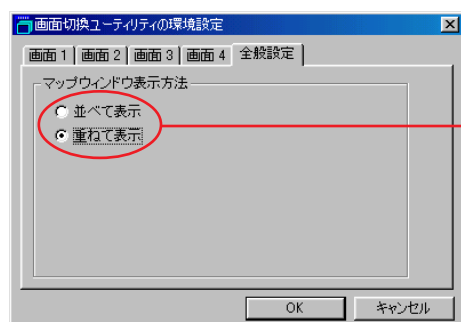
1 タスクトレイの *を前ボタンでクリックし、「環境設定」を選ぶ。

* Windows XP ：タスクトレイのアイコンが隠れて表示されていないことがあります。この場合、を押してすべてのアイコンを表示させてください。

2 必要な設定を行う。

●画面1〜4の設定

スクリーンセーバーから復帰したときに、カーソルの位置を目立つように表示させるかどうかとデザインを選びます。また、画面番号を表示するかどうかを選びます。

画面を切り替えたときに、約1秒間、画面番号を表示させるかどうかとその色を選びます。

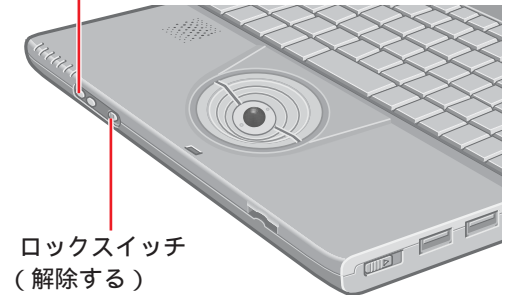
●全般設定

マップウィンドウの表示方法を選びます。

お知らせ

マップウィンドウの表示方法は、マップウィンドウの を使って切り替えることもできます。

3 [OK]を選ぶ。

メールボタン

Windowsが起動した状態でメールボタンを押すと、登録されているアプリケーションソフトが起動します。
また、電源オフ時やスタンバイ・休止状態でメールボタンを押すと、Windows起動後またはリジューム後に、登録されているアプリケーションソフトが起動します。（工場出荷時はOutlook Expressが登録されています。）
メールボタンには複数のアプリケーションソフトを登録できます。
パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。

お願い

- 持ち運びの際などにメールボタンまたはインターネットボタンが押されるとWindowsが起動し、本体が故障する恐れがありますので、必ずロックスイッチを右側にスライドしてメールボタン、インターネットボタンをロックしておいてください。
- Outlook Expressを使ってメールの送受信を行う場合は、あらかじめ、プロバイダーへ加入し、インターネットの接続設定やメールアカウントの設定を行っておいてください。
- Outlook Express起動後は、インターネットに接続するために、接続画面で[接続]を選ぶ必要があります。インターネットに接続してからメールの送受信を行ってください。自動的に接続したい場合は、接続画面の[自動的に接続する]にチェックマークを付けてください。また、メールの送受信が終わったら、[ファイル] - [閉じる]を選んでOutlook Expressを終了し、接続を切断してください。

アプリケーションソフトを登録する/削除する

1 タスクトレイの * を選び、[USERボタンの設定]を選び、[メール]を選ぶ。

* Windows XP ：タスクトレイのアイコンが隠れて表示されていないことがあります。この場合、を押してすべてのアイコンを表示させてください。

2 ●登録する

[ユーザー設定]を選んで、[追加]を選び、アプリケーションソフトを選ぶ。
または、エクスプローラなどから登録ボックスにファイルをドラッグ&ドロップする。

お知らせ

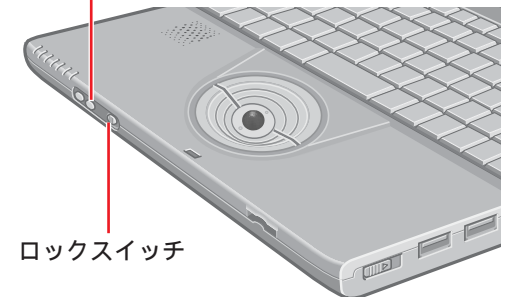
以下の拡張子が付いているファイルが登録できます。
ただし、ファイルによっては登録できないものもあります。
・EXE（実行ファイル）
・LNK（各種ファイルへのショートカット）

●削除する

登録ボックス内のアプリケーションソフトを選び、[削除]を選ぶ。

3 [OK]を選ぶ。

インターネットボタン

コンピューターが起動中にインターネットボタンを押すと、登録されているアプリケーションソフトが起動します。
また、電源オフ時やスタンバイ・休止状態でインターネットボタンを押すと、Windows起動後またはリジューム後に、登録されているアプリケーションソフトが起動します。（工場出荷時はInternet Explorerが登録されています。）
インターネットボタンには複数のアプリケーションソフトを登録できます。
パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。

お願い

持ち運びの際などにメールボタンまたはインターネットボタンが押されるとWindowsが起動し、本体が故障する恐れがありますので、必ずロックスイッチを右側にスライドしてメールボタン、インターネットボタンをロックしておいてください。

アプリケーションソフトを登録する/削除する

1 タスクトレイの*を選び、[USERボタンの設定]を選び、[インターネット]を選ぶ。

* Windows XP：タスクトレイのアイコンが隠れて表示されていないことがあります。この場合、を押してすべてのアイコンを表示させてください。

2 ●登録する

[追加]を選び、アプリケーションソフトを選ぶ。
または、エクスプローラなどから登録ボックスにファイルをドラッグ&ドロップする。

お知らせ

以下の拡張子が付いているファイルが登録できます。
ただし、ファイルによっては登録できないものもあります。
・EXE（実行ファイル）
・LNK（各種ファイルへのショートカット）

登録ボックス

●削除する

登録ボックス内のアプリケーションソフトを選び、[削除]を選ぶ。

3 [OK]を選ぶ。

PCカード

本機にはPCカード用スロットが1つあります。
PC Card Standard 規格に準拠したPCカードを使うことにより、通信機能を活用したりSCSI機器などの周辺機器を接続することができます。カードは厚みによってタイプⅠ（3.3 mm）、タイプⅡ（5.0 mm）、タイプⅢ（10.5 mm）の3つのタイプがあります。本機で取り付けることができるのは、タイプⅠまたはタイプⅡのカードです。

お願い

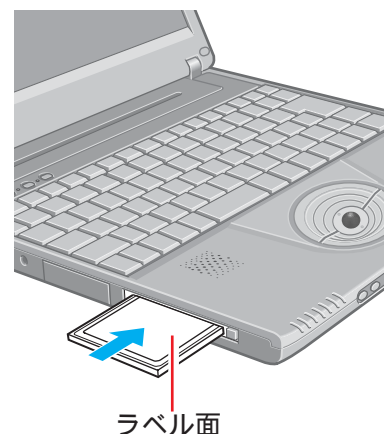
- PCカードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  （許容電流→3.3 V：400mA、5 V：400mA）
- SRAMカード、FLASHカード（ATAインターフェースを除く）、ZVカードおよび動作電圧が12Vのカードは使用できません。
- PCカードの取り付け・取り外しを繰り返していると、カードによっては、認識されなくなることがあります。この場合、コンピューターを再起動してください。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後にコンピューターが動作しなくなったときは、PCカードを取り外し、取り付け直してください。それでも起動しない場合は、コンピューターを再起動してください。

取り付ける

カードのラベル面を上にして、ゆっくりと奥まで挿し込む

接続方法については、PCカードに付属の取扱説明書をお読みください。

お願い

- 周辺機器を接続するタイプのPCカード（SCSI、IEEE1394など）の場合：
  1. カードに周辺機器を接続する。
  2. 周辺機器の電源を入れる。
  3. カードをゆっくりと奥まで挿し込む。
- カードが入りにくい場合は、無理に差し込まないでください。またカードの形状によっては、装着後、外に突き出たままになるものもあります。無理に押さないよう注意してください。PCカードスロットが破損したり、カードが取り出せなくなったりします。

取り外す

お願い

- スタンバイ・休止状態のとき、PCカードを取り外さないでください。
- SCSIカードを使ってハードディスクを接続している場合など、PCカードやPCカードに接続した機器の状態によっては停止処理が正常に完了しないことがあります。この場合は、[スタート]メニューを使って電源を切ってからカードを取り外してください。

① Windows 2000

タスクトレイの をダブルクリックし、取り外すカードを選んで[停止]を選ぶ。

「ハードウェアデバイスの停止」画面および確認画面で[OK]を選びます。

（電源を切った状態で取り外す場合または が表示されていない場合、この手順は不要です。）

Windows XP

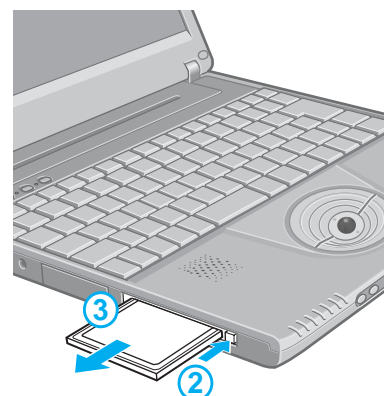
タスクトレイの をダブルクリックして、取り外すカードを選んで[停止]を選ぶ。

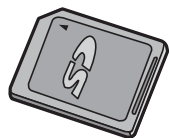
「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]を選びます。

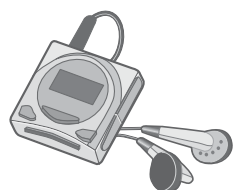
（電源を切った状態で取り外す場合または が表示されていない場合、この手順は不要です。）

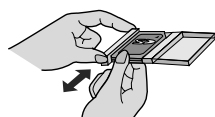
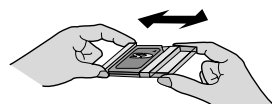
② ボタンを1回押すと、 ボタンが飛び出しますので、もう一度ボタンを押します。（PCカードが少し出てきます。）

③ そのままカードを引き抜きます。

④ ボタンを押して元に戻します。

SD メモリーカード / マルチメディアカードの活用方法

SDメモリーカード

コンテンツの配信サービスに対応する高度な著作権保護技術によって開発された、小型軽量のメモリーカードです。

SDメモリーカードには以下のような活用方法があります。

SDオーディオプレーヤー

- 音楽データを書き込み（チェックアウト）、別売りのSDオーディオプレーヤーで聞く。
- SDメモリーカードのカードスロット搭載機器（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラなど）とのデータのやりとりに使う。
  - ・SD-Jukeboxで音楽データを録音したSDメモリーカードを、コンピューターにセットしても直接は再生できません。詳しくはSD-Jukeboxの説明書をご覧ください。
  - ・コンピューターでSDメモリーカードをフォーマットすると、他の周辺機器で使えない場合があります。詳しくは周辺機器の説明書をご覧ください。
- メモリーカードとして使う。（ファイルなどを保存するドライブとして使えます。）
- コンピュータの起動時やWindowsへのログオン時に、パスワードを入力する代わりにSDメモリーカードをセットする。（36ページ）

● SDメモリーカードケースの開けかた・閉じかた

カードの性能保持のため、ケースの開閉は必ず両手で側面（4か所）を水平になるように持って行ってください。

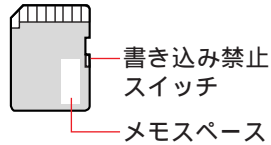
● SDメモリーカードケースからの取り出し・収納

カードの出し入れは、必ずトレイに沿わせてスライドさせながら行ってください。
収納時は、カードが正しくトレイに収まっていることを確認してからケースを閉じてください。

● 取り扱い上および保管上のお願い

- 使用機器から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 金属端子部を手や金属で触らないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 閉め切った車内や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりの多いところには置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

● スタンバイ・休止状態からリジュームしたときのお願い

スタンバイ・休止状態からリジュームした後、約30秒間はSDメモリーカードにアクセスしないでください。

●大切なデータを保護するために

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音（チェックアウト）・編集をするときは解除してください。
- メモスペースに文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは使用しないでください。カード本体に損傷を与えたり、データが破壊されたりすることがあります。
- データの読み出し中や書き込み中は、カードを抜いたり、カードが入っている機器および周辺機器の電源を切らないでください。データが破壊されることがあります。（お客様の記録されたデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップをとっておくことをおすすめします。

●転送速度について

本機のSDメモリーカードスロットによる転送速度は2 MB／秒です。高速な転送速度に対応したSDメモリーカードをお使いの場合でも、転送速度は2 MB／秒になります。

Windows 2000

● SDメモリーカードのフォーマットについて

NTFSファイルシステムでのフォーマットはサポートしていませんので、実行しないでください。

マルチメディアカード（MMC）

マルチメディアカードには以下のような活用方法があります。

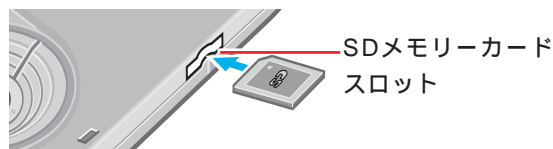
- マルチメディアカードスロット搭載の各種機器（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラなど）とのデータのやりとりに使う。
- メモリーカードとして使う。（ファイルなどを保存するドライブとして使えます。）

一部の周辺機器でフォーマットしたマルチメディアカードなど、条件によっては本機で使えないカードがあります。

SDメモリー/マルチメディアカード

SD メモリーカード / マルチメディアカードの取り付け・取り外し

●取り付けるとき

ラベル面を上にして、角が欠けた方から
しっかりと差し込む。

●取り外すとき

カードを押すと、カードが少し出てくるので
そのまま引き出す。

お願い

- カードは向きに注意してセットしてください。間違った方向にセットすると故障の原因になります。
- 取り出す際は必ず、カードを押して、カードを少し飛び出た状態にして（ロックを解除して）から取り出してください。ロック状態で無理に引き抜くと故障の原因になります。
- 書き込みなどの操作の後、しばらく断続的にアクセスすることがあります。SDメモリーカード状態表示ランプ SD が完全に消えた後、取り出してください。処理が完了する前に取り出すと、大切なデータが壊れたり、次回取り付けたときに正しくアクセスできないことがあります。

SDメモリーカードのドライブ名

SDメモリーカード/マルチメディアカードを取り付けていない場合でも、エクスプローラなどにはリムーバブルディスクとしてドライブ名（D:）が表示されます。
ドライブ名を変更したい場合は、以下の手順でSDドライブ変更ツールを使用してください。

お知らせ

- Administratorまたはコンピューターの管理者の権限でログオンしてください。
- Aドライブ、Bドライブ、Cドライブ、Zドライブには変更できません。

<SDドライブ変更ツールをインストールする方法>

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選ぶ。
2 「c:¥util¥chgsddrv¥setup.exe」と入力して[OK]を選ぶ。
以降、画面の指示に従って操作してください。

<ドライブ名の変更方法>

Windows 2000

1 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[SDドライブ変更ツール]を選ぶ。
2 「新しいドライブ名：」の ▼ を選んでドライブ名を選び、[OK]を選ぶ。

Windows XP

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[SDドライブ変更ツール]を選ぶ。
2 「新しいドライブ名：」の ▼ を選んでドライブ名を選び、[OK]を選ぶ。

SDメモリーカードによるセキュリティ機能

市販のSDメモリーカードに初期設定を行うことにより、SDメモリーカードにセキュリティ機能を持たせることができます。例えば、次のような場合、パスワードを入力する代わりにSDメモリーカードを使うことができます。

- 起動時
- Windowsへのログオン時
- スタンバイ・休止状態やスクリーンセーバーからの復帰時

1枚のSDメモリーカードを複数のコンピューターに対して設定しておくことができます。ただし、どのコンピューターにも同じパスワードを使用する場合に限ります。

このセキュリティ機能は、SDメモリーカードスロットのみに働きます。USB接続のSDカードリーダーなどにはこの機能は使えません。

初期設定（SDカード設定）を行う

市販のSDメモリーカードにセキュリティ機能を持たせるには初期設定が必要です。下記に従って操作してください。

1 コンピューターの電源を入れる。

2 SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにセットする。

Windows XP

「リムーバブルディスク」画面が表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]を選んでください。

3 SDカード設定プログラムを起動する。

Windows 2000

[スタート] - [プログラム] - [Panasonic] - [SDカード設定]を選ぶ。

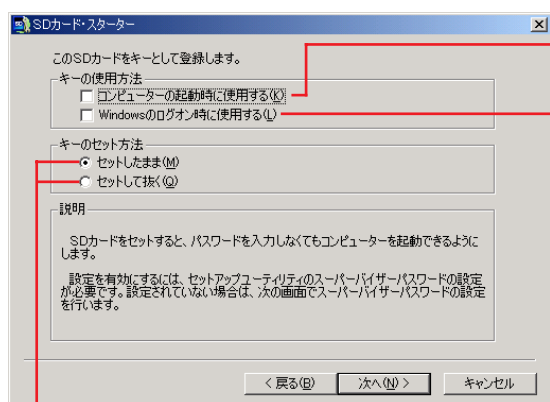
Windows XP

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [SDカード設定]を選ぶ。

お知らせ

SDメモリーカードをセットしていない場合は、「SDカードをセットしてください。」というメッセージが表示されます。SDメモリーカードをセットして、[再試行]を選んでください。

4 「SDカード・スターターへようこそ」画面で[次へ]を選ぶ。

5 使用したい機能とSDメモリーカードのセット方法を選び、[次へ]を選ぶ

コンピューターの起動時に使用する：
コンピューター起動時のパスワード入力の代わりとしてSDメモリーカードを使用したい場合は、ここにチェックマークを付けます。1台のコンピューターに登録できるSDメモリーカードは2枚までです。

Windowsのログオン時に使用する：
Windowsのログオン画面でパスワードを入力する代わりにSDメモリーカードを使用したい場合は、ここにチェックマークを付けます。
あらかじめ、Windowsのログオンユーザーを作成し、パスワードを変更しておく必要があります。

Windows XP　ここにチェックマークを付けると、「ようこそ」画面は表示されなくなります。また、ユーザーの簡易切り替え機能も無効になります。

セットしたまま*　：SDメモリーカードをセットすることでパスワード入力の代わりにしたい場合は、ここにチェックマークを付けます。コンピューターやWindows起動後、カードを抜いても問題ありません。

セットして抜く*　：SDメモリーカードをセットして抜くことでパスワード入力の代わりにしたい場合は、ここにチェックマークを付けます。

* セット方法はコンピューターごとに設定されます。1台のコンピューターに対してはSDメモリーカードごとにセット方法を変更することはできません。
「コンピューターの起動時にSDを使用する」場合のセット方法のみを変更するときは、セットアップユーティリティ（73ページ）で行ってください。

6 「設定後にコンピューターを再起動する」にチェックマークをつけて[完了]を選ぶ

7 必要に応じて、設定を行う

手順5で設定した内容により、操作が異なります。

手順5で「コンピューターの起動時に使用する」にチェックマークを付けた場合	手順5で「Windowsのログオン時に使用する」にチェックマークを付けた場合
<スーパーバイザーパスワードを設定している場合> スーパーバイザーパスワードを入力して[OK]を選ぶ。 <スーパーバイザーパスワードを設定していない場合> 1 スーパーバイザーパスワードを入力して Tab を押す。 2 手順1で入力したスーパーバイザーパスワードを入力して[OK]を選ぶ。 3 確認の画面で[はい]を選ぶ。	1 ユーザー名を入力して Tab を押す。 2 パスワードを入力して Tab を押す。 3 手順2で入力したパスワードを入力して[OK]を選ぶ。 4 確認の画面で[はい]を選ぶ。

お願い

上記設定を行ったSDメモリーカードは、通常のメモリーカードとして他の機器でも使用できます。その際、「Private」フォルダーは削除しないでください。削除するとWindowsのログオン時に使用できなくなります。

SDメモリーカードの使いかた

初期設定（SDカード設定）済みのSDメモリーカードは、次のように使用できます。

●「コンピュータの起動時に使用する」ように設定した場合

下記画面が表示されたら...

<初期設定の手順5で「セットしたまま」を選んだ場合>
SDメモリーカードをセットしてください。すでにSDメモリーカードをセットしている場合は、パスワード入力画面は表示されません。

<初期設定の手順5で「セットして抜く」を選んだ場合>
SDメモリーカードをセットした後、取り外してください。

お知らせ

SDメモリーカードを使わずに、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、コンピューターを起動することもできます。

●「Windowsのログオン時に使用する」ように設定した場合

Windowsへのログオン画面でパスワードの入力を求められたら...

<初期設定の手順5で「セットしたまま」を選んだ場合>
SDメモリーカードをセットしてください。
（すでにセットされている場合は、セットし直してください。すでにSDメモリーカードを正しくセットしている場合は、コンピューター起動時にはWindowsへのログオン画面は表示されません。）

<初期設定の手順5で「セットして抜く」を選んだ場合>
SDメモリーカードをセットした後、取り外してください。

スタンバイや休止状態、スクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの入力を求められたら...

<初期設定の手順5で「セットしたまま」を選んだ場合>
SDメモリーカードをセットしてください。
（すでにセットされている場合は、セットし直してください。）

<初期設定の手順5で「セットして抜く」を選んだ場合>
SDメモリーカードをセットした後、取り外してください。

お知らせ

SDメモリーカードを使わずに、パスワードを入力して、Windowsにログオンしたり、スタンバイ、休止状態、スクリーンセーバーから復帰したりすることもできます。

お願い

- 「Windowsのログオンに使用する」に設定している場合
  Windowsへのログオン時やスクリーンセーバーからの復帰時、SDメモリーカード状態表示ランプが点滅していたら、SDメモリーカードを抜かず、キーボードでパスワードを入力してください。
  アプリケーションソフトなどがSDメモリーカードにアクセスしている場合があります。
  以下の場合は、SDメモリーカードを抜いておいてください。
  ・ログオフする前
  ・スタンバイまたは休止状態に入る前
  ・スクリーンセーバーに入る可能性があるとき
- 正しく設定されていないSDメモリーカードを使用した場合
  ・コンピューターの起動時には、アイコンが約3秒間表示された後、コンピューターの電源が切れます。
  ・Windowsへのログオンができません。
  ・スタンバイや休止状態から復帰できません。
  ・スクリーンセーバーは解除できません。
  正しく設定されたSDメモリーカードをセットし直すか、各パスワードを入力してください。
- 「Windowsのログオンに使用する」で「セットして抜く」を選んだ場合は、SDメモリーカードをセットした後、「ピッ」というカードを認識する音*が鳴ってから取り外してください。
  * ミュート時は鳴りません。
- SDメモリーカードをセットしても正常に動作しない場合は、一度取り出して数秒待った後、再度取り付けてください。
- Windows画面が表示されるまでSDメモリーカードを抜き挿ししないでください。

2回目以降のSDカード設定のしかた

SDカード設定プログラムを一度実行した後、次に起動したときは設定画面が異なります。ここでは、2回目以降のSDカード設定のしかたについて説明します。

1 コンピューターの電源を入れる

2 SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにセットする

Windows XP

「リムーバブルディスク」画面が表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]を選んでください。

3 SDカード設定プログラムを起動する

Windows 2000

[スタート] - [プログラム] - [Panasonic] - [SDカード設定]を選ぶ

Windows XP

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [SDカード設定]を選ぶ

4 必要に応じて、設定を変更する。

●このコンピュータの設定

「コンピューターの起動時にSDを使用する」	コンピューター起動時のパスワード入力の代わりにSDメモリーカードを使用したい場合にチェックマークを付けます。	● チェックマークを外すと、現在登録されているすべてのSDメモリーカードの情報がコンピューターから削除され、登録済みのSDメモリーカードをセットしても起動できなくなります。SDメモリーカードを紛失した場合など、他人にカードを悪用される可能性がある場合は、チェックマークを外してください。 ● 再度、SDメモリーカードを使用するには、コンピューターに再登録する必要があります。「このSDの設定」の「このコンピューターの起動時に使用する」にチェックマークを付けてください。 ● この設定は、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで行うこともできます。 **お知らせ** ● チェックマークを外しても、スーパーバイザーパスワードは無効にはなりません。（コンピューターの起動時にパスワードの入力画面が表示されます。） ● スーパーバイザーパスワードを「無効」にするには、セットアップユーティリティで行ってください。（☞ 12ページ）
「Windowsのログオン時にSDを使用する」	Windowsのログオン時のパスワード入力の代わりにSDメモリーカードを使用したい場合にチェックマークを付けます。	チェックマークを外すと、パスワードが設定済みのSDメモリーカードをセットしても、Windowsにログオンできなくなります。

「キーのセット方法」	「初期設定（SDカード設定）を行う」の手順5をご覧ください。	● コンピューターの起動時のセット方法は、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで設定することもできます。 ● 「コンピューターの起動時にSDを使用する」場合と「Windowsのログオン時にSDを使用する」場合とでセット方法を変えたいときは、この画面でWindowsのログオン時のセット方法を設定してから、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで起動時のセット方法を設定してください。ここでセット方法を変更すると、セットアップユーティリティの設定も変更されます。

●このSDの設定（現在セットしているSDメモリーカードの設定）

お知らせ

「このSDの設定」項目全体は、SDメモリーカードがセットされていない場合にはグレー表示され、選択することができません。

「このコンピューターの起動時に使用する」	● 起動時のパスワード入力の代わりに、現在セットしているSDメモリーカードを使用したい場合にチェックマークを付けます。 ● ここにチェックマークを付けると、「コンピューターの起動時にSDを使用する」にも自動的にチェックマークが付けられます。
「Windowsのログオン時に使用する」	● Windowsのログオン画面でパスワードを入力する代わりに、現在セットしているSDメモリーカードを使用したい場合にチェックマークを付けます。 ● チェックマークを外すと、ユーザー名とパスワードが、SDメモリーカードから消去されます。
「ユーザー名とパスワードの設定」	● 現在セットしているSDメモリーカードに設定されているWindowsログオン時のユーザー名とパスワードを変更します。 このメニューを選ぶと、設定済みのユーザー名が表示されますので、そのパスワードを入力して[OK]を選んでください。その後、新しいユーザー名とパスワードを設定してください。 ● 「ユーザー名とパスワードの設定」は、「Windowsのログオン時に使用する」にチェックマークが付けられていない場合はグレー表示されます。

5 [OK]を選ぶ

手順4で設定した内容により、操作が異なります。

手順4で「コンピューターの起動時にSDを使用する」または「このコンピューターの起動時に使用する」にチェックマークを付けた場合	手順4で「Windowsのログオン時に使用する」にチェックマークを付けた場合	手順4で「Windowsのログオン時に使用する」でチェックマークを外した場合
<スーパーバイザーパスワードを設定している場合> スーパーバイザーパスワードを入力して[OK]を選ぶ。 <スーパーバイザーパスワードを設定していない場合> 1 スーパーバイザーパスワードを入力して Tab を押す。 2 手順1で入力したスーパーバイザーパスワードを入力して[OK]を選ぶ。 3 確認の画面で[はい]を選ぶ。 4 コンピューターを再起動する。	1 ユーザー名を入力して Tab を押す。 2 パスワードを入力して Tab を押す。 3 手順2で入力したパスワードを入力して[OK]を選ぶ。 4 確認の画面で[はい]を選ぶ。 5 コンピューターを再起動する。	1 パスワードを入力して[OK]を選ぶ。 2 「SDカードに登録されているユーザー名とパスワードを消去します．．．」という画面が表示されるので、[はい]を選ぶ。 3 コンピューターを再起動する。

RAMモジュール

RAMモジュールを増設し、メモリーを増やすことによってWindowsやアプリケーションソフトの操作がより快適になり、作業効率をアップすることができます。
下記指定以外のRAMモジュールを使用すると、正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。

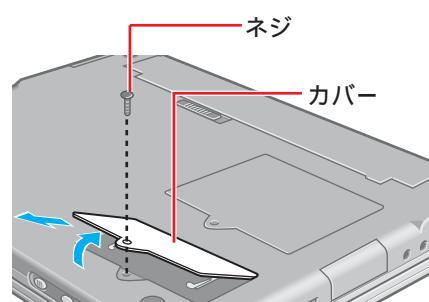
128 Mバイト RAMモジュール
品番:CF-BAF0128BS

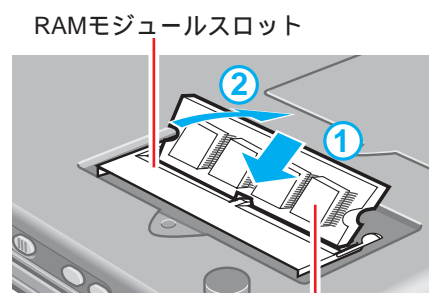
推奨RAMモジュール 仕様
144ピン, SO-DIMM, 3.3 V , SDRAM ,100 MHz

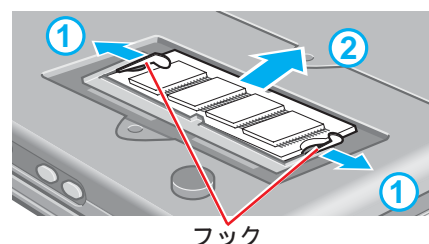
お願い

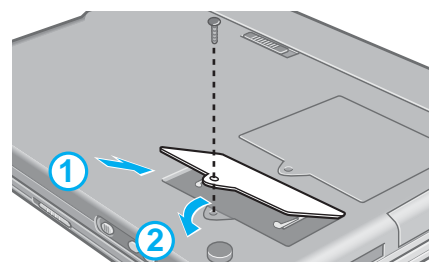
RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触ったり、ゼムクリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる。
（☞ 『取扱説明書』 「操作を始める / 終わる」）

2 本体を裏返し、ネジを取り外してカバーを外す。

3 ● RAMモジュールを取り付けるとき

① RAMモジュールを斜めから挿し込む。
② 左右のフックでロックされるまで倒す。

● RAMモジュールを取り外すとき

① 左右のフックを外側に広げる。
② ゆっくりとスロットから取り出す。

4 カバーを取り付ける。

① カバーを斜めから挿し込み、取り付ける。
② ネジで固定する。

お知らせ

RAMモジュールが認識されているかどうかは、セットアップユーティリティの「メイン」メニュー（☞ 74ページ）で確認できます。RAMモジュールが認識されていない場合は、コンピューターの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

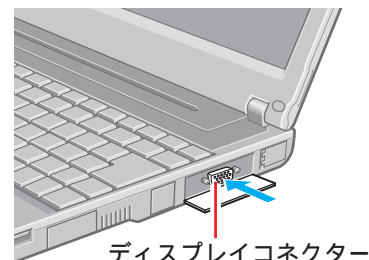
外部ディスプレイ

外部ディスプレイを接続し、表示先を切り替えることができます。

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる。
（☞『取扱説明書』「操作を始める / 終わる」）

2 外部ディスプレイを本機のディスプレイコネクターに接続する。

ディスプレイコネクター

3 外部ディスプレイ、本機の順に電源を入れる。
Windowsが起動した後、以下の項目で設定した表示先に表示されます。
Windows 2000：[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [画面] - [設定] - [詳細] - [Lynx3DM+]を選び、表示先を設定する。
Windows XP：[スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [Lynx3DM+]を選び、表示先を設定する。
Fn + F3 を押して外部ディスプレイ、LCD、または同時表示に切り替えることができます。

お知らせ

- セットアップユーティリティなど、Windowsが起動していない状態での表示先は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「ディスプレイ」で設定します。（☞ 74ページ）
- 休止状態から復帰したときや再起動後の表示先は、休止状態に入る前や再起動前とは表示先が異なる場合があります。
- Windowsが起動した後に表示先を切り替えるときは、表示先が完全に切り替わるまで、キーを押したり、電源スイッチをスライドしたりしないでください。

4 外部ディスプレイを設定する。
Windows 2000
[コントロールパネル] - [画面] - [設定] - [詳細] - [モニタ]を選んで、外部ディスプレイを設定する。
プラグアンドプレイに対応していないディスプレイを接続している場合、[プロパティ] - [ドライバ] - [ドライバの更新]を選んで設定してください。
Windows XP
[コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [モニタ]を選んで、外部ディスプレイを設定します。
プラグアンドプレイに対応していないディスプレイを接続している場合、[プロパティ] - [ドライバ] - [ドライバの更新]を選んで設定してください。

お知らせ

- 詳しくは、外部ディスプレイに付属の取扱説明書をお読みください。
- 接続したディスプレイに合わせて、色数、解像度、リフレッシュレートなどを設定してください。

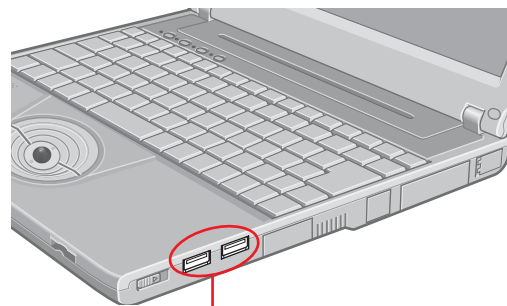
USB機器

フロッピーディスクドライブやプリンター、イメージスキャナーなどUSB対応のいろいろな周辺機器を使用することができます。

USB 機器の取り付け／取り外し

USB 機器を取り付ける

USB機器を本機のUSBコネクターに接続する。

詳しくはUSB機器に付属の取扱説明書をお読みください。

USBコネクター

•マークを上にして取り付けてください。

お知らせ

- USB機器は本体の電源を切らなくても取り付け／取り外しができます。
- USB機器を接続した状態では、スタンバイおよび休止状態機能が正常に動作しない場合があります。また、コンピューターが正常に起動しなくなった場合はUSB機器を取り外し、再起動してください。
- 機器によっては、USB HUBに接続するのではなく、本機のUSBコネクターに接続しないと動作しないものがあります。
- USB機器を抜き挿しすると、デバイスマネージャーに!が表示されて、正しく認識されないことがあります。その場合は、再度抜き挿ししてください。

Windows 2000

- USBフロッピーディスクドライブ（別売り）などのUSB機器を接続したままスタンバイ・休止状態に入り、リジュームすると、「デバイスの取り外しの警告」画面が表示される場合がありますが、ご使用には支障ありません。

Windows XP

- USB接続のスピーカーを使用しているときにノイズが発生する場合は、コンピュー ターの管理者の権限でログオンした後、次の操作を行ってください。
  1. [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[CPU省電力設定]で[パフォーマンス優先]を選んで[OK]-[はい]選ぶ。
     自動的に再起動します。
  2. [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]で、「電源設定」を[常にオン]に設定し、[OK]を選ぶ。
  - この操作により、CPUの省電力機能が原因で発生するUSB接続のスピーカーからのノイズは軽減されますが、完全にノイズが出なくなるわけではありません。また、これ以外の原因によるノイズには効果はありません。（例：動画再生時などCPUの負荷が高い場合に発生するノイズ）
  - この操作を行うとバッテリーでの駆動時間が多少短くなりますので、USB接続のスピーカーを使用しないときは[CPU省電力設定]で「バッテリー優先」（Windows標準）、[電源オプション]の「電源設定」を「ポータブル/ラップトップ」に戻しておくことをおすすめします。

USB 機器を取り外す

お願い
- スタンバイ・休止状態のとき、USB機器を取り外さないでください。
- 開いているファイルなどはすべて閉じてください。

1 Windows 2000

タスクトレイのをダブルクリックし、取り外す機器を選んで[停止]を選ぶ。

「ハードウェアデバイスの停止」画面および確認画面で[OK]を選びます。
(電源を切った状態で取り外す場合またはが表示されていない場合、この手順は不要です。)

Windows XP

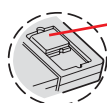
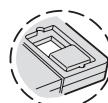
タスクトレイのをダブルクリックし、取り外す機器を選んで[停止]を選ぶ。

「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]を選びます。
(電源を切った状態で取り外す場合またはが表示されていない場合、この手順は不要です。)

2 USB 機器を取り外す。

USBフロッピーディスクドライブについて

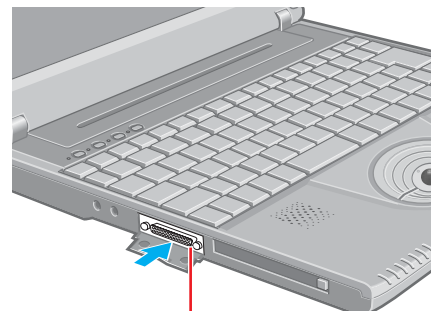
別売りのフロッピーディスクドライブを使うときは、以下のことに注意してください。

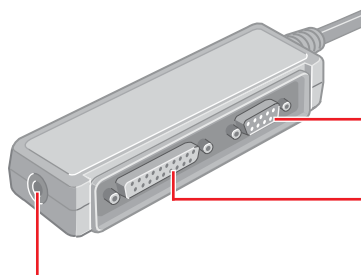
- フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしないでください。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- フロッピーディスクの取り扱いには注意してください。
データの破損やフロッピーディスクがドライブから取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
  ・シャッターを手で開けない
  ・磁気を帯びたものを近づけない
  ・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
  ・ラベルを重ねて貼らない
- 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認してください。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
- 書き込み禁止タブ(ライトプロテクトタブ)を使うことをおすすめします。
重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。

ライトプロテクトタブ

書き込み可能な状態　　書き込み禁止の状態

- 他のフロッピーディスクドライブと同時に使用することはできません。
- フロッピーディスクに保存しているMicrosoft WordやMicrosoft Excelなどのファイルは、フロッピーディスクから直接開かないでください。ファイルをハードディスクにコピーし、コピーしたファイルを開くようにしてください。
- フロッピーディスクドライブに付属の「外部FDD用ドライバーディスク」は、Windows 98用ですので使用しないでください。

拡張コネクター

拡張コネクターは、以下の機器（別売り）を接続して使用することができます。

- I/Oボックス　品番：CF-VEBU04JS
- シリアル変換ケーブル　品番：CF-VCFA31JS
- 外付けHDD　品番：CF-VHD02AS

I/Oボックス

別売りのI/Oボックスを使って、以下のような周辺機器を使用することができます。
詳しくはI/Oボックスおよび接続する周辺機器に付属の取扱説明書をお読みください。

シリアル変換ケーブル

別売りのシリアル変換ケーブルを使って、シリアルマウスなどのシリアル機器を使用することができます。
詳しくはシリアル変換ケーブルおよび接続するシリアル機器に付属の取扱説明書をお読みください。

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わずに操作を終わる。
（☞『取扱説明書』「操作を始める／終わる」）

2 拡張コネクターのカバーを開け、シリアル変換ケーブルを本機の拡張コネクターに接続する。

3 シリアル機器をシリアル変換ケーブルに接続する。

外付けHDD

別売りの外付けHDDをお買い上げになってはじめて使うときは、下記の手順で操作してください。
その他については外付けHDDに付属の取扱説明書をお読みください。

お願い

外付けHDDの取り付け、取り外しは、スタンバイおよび休止状態を使わないでコンピューターの電源を切ってから行ってください。

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わずに操作を終わる。

（☞『取扱説明書』「操作を始める／終わる」）

2 外付けHDDを取り付ける。

スレーブ／マスター切り替えスイッチがスレーブ側になっていることを確認して、コンピューター本体の拡張コネクターに外付けHDDのコネクターを接続します。

3 外付けHDDをフォーマットする。

お買い上げ時、外付けHDDはフォーマットされていません。外付けHDDを取り付けたら、次の手順でフォーマットしてください。

Windows 2000

1 電源スイッチをスライドしてコンピューターの電源を入れ、「Administrator」でログオンする。
2 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[管理ツール]-[コンピュータの管理]-[記憶域]を選び、[ディスクの管理（ローカル）]を選ぶ。
3 「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されたら、[次へ]を選ぶ。
4 「署名するディスクの選択」の画面で、[ディスク1]にチェックマークを付けて[次へ]を選ぶ。
5 「アップグレードするディスクの選択」の画面で、[ディスク1]のチェックマークを外して[次へ]を選ぶ。
6 [完了]を選ぶ。
7 [ディスク1]を前ボタンで選び、[ボリュームの作成]を選ぶ。
以降、画面のメッセージに従って操作してください。
8 操作が完了したら、[スタート]-[シャットダウン]を選んで、コンピューターを再起動する。

Windows XP

1. 電源スイッチをスライドしてコンピューターの電源を入れ、「Administrator」でログオンする。
2. [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]-[コンピュータの管理]-[記憶域]を選び、[ディスクの管理（ローカル）]を選ぶ。
3. 「ディスクの初期化と変換ウィザード」が表示されたら、[次へ]を選ぶ。
4. 「初期化するディスクの選択」の画面で、[ディスク1]にチェックマークを付けて[次へ]を選ぶ。
5. 「変換するディスクの選択」の画面で、[ディスク1]のチェックマークを外して[次へ]を選ぶ。
6. [完了]を選ぶ。
7. [ディスク1]の[未割りあて]を前ボタンで選び、[新しいパーティション]を選ぶ。
   以降、画面のメッセージに従って操作してください。
8. 操作が完了したら、[スタート]-[終了オプション]を選んで、コンピューターを再起動する。

●パーティションの設定を変更する場合

Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[管理ツール]-[コンピュータの管理]-[記憶域]-[ディスクの管理（ローカル）]で、設定を変更してください。

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]-[コンピュータの管理]-[記憶域]-[ディスクの管理（ローカル）]で、設定を変更してください。

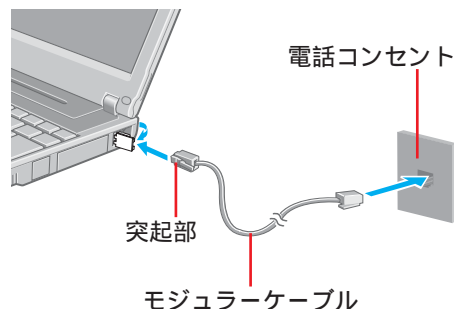
モデム

内蔵モデムと電話コンセントを接続する

1 **モジュラーケーブル（市販品）でコンピューターと電話コンセントをつなぐ。**

モデムのカバーを開け、突起部をコネクター（ ）の向きに合わせて挿し込んでください。

お願い

- モデムコネクターであることを確認して挿し込んでください。モジュラーケーブルは、LANコネクターには接続しないでください。
- 雷が鳴っているときは、モジュラーケーブルを抜いてください。

2 **モデムのダイヤル方法を設定する。**

Windows 2000

① [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電話とモデムのオプション]を選ぶ。
② [ダイヤル情報]の[編集]を選び、各種設定を行う。

Windows XP

① [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[電話とモデムのオプション]を選ぶ。
② [ダイヤル情報]の[編集]を選び、各種設定を行う。

⚠注意

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

お知らせ

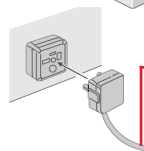
- 取り外すときは、突起部を押さえながら引き抜いてください。
- 通信中は、スタンバイ・休止状態機能を使用しないでください。
- モデムは、日本国内の一般電話回線で使用してください。
  - ・会社、事務所等の内線電話回線等には、接続しないでください。
  - ・以下の特性が異なる回線に接続すると、本機が故障する恐れがあります。
    NTTのピンク電話の回線
    ホームテレホン（接続ボックス）
    玄関ドアホン等
- 電話コンセントの種類は、モジュラージャック、ローゼット、3端子（または4端子）ジャックなどがあります。電話回線とのつなぎかたは、端子の種類によって異なります。モジュラージャックの場合、モジュラーケーブル（市販品）をそのままつなぎます。

<ローゼットの場合>

最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。
資格のない方が工事をすることは認められていません。

<3端子（または4端子）ジャックの場合>

以下の2とおりの方法があります。

- 最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。
- 一方がモジュラープラグで、他方が3端子（または4端子）プラグのケーブル（市販品）を用意し、以下のようにつなぎます。

本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

モデムによるリジューム機能（モデムリングリジューム機能）

スタンバイ状態のときに内蔵モデムに接続した回線に電話がかかると、コンピューターの電源が自動的に入る機能のことです。
不在時のファクス自動受信などを活用する際に便利です。
この機能を使用する場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアを起動し、待ち受け状態にしておく必要があります。詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。

モデムリングリジューム機能を有効にする

Windows 2000

1. [コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [モデム]を選び、お使いのモデムをダブルクリックする。
2. [電源の管理]を選び、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。

Windows XP

1. [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [モデム]を選び、お使いのモデムをダブルクリックする。
2. [電源の管理]を選び、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。

お願い

- 電源オフ時および休止状態からはリジュームできません。
- この機能を使用する場合は、ACアダプターを接続しておくことをおすすめします。
- スタンバイ状態からリジュームした後は、画面は真っ暗のままです。キーボードまたはトラックボールを操作すると元の画面が表示されます。
- 内蔵モデム以外のモデム（PCカードモデムなど）の回線に電話がかかってもリジュームできません。
- [システムスタンバイ]*の設定について
  - [システムスタンバイ]は、おおよその通信時間を考慮して設定してください。
    通信中でも設定時間になるとスタンバイ状態に入り、通信が中断されることがあります。
  - [なし]に設定しておくと、通信の途中でスタンバイ状態に入ることはありませんが、リジュームした後、長期不在の場合でも電源が入ったままになります。

  * Windows 2000 ：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[電源設定]
  Windows XP ：[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[電源設定]
- モデムリングリジューム機能を使用している場合、電話がつながるまでに時間がかかります（リジュームで起動する時間相当）。リジュームを行うには通常の電話呼び出しよりも長く呼び出しを行ってください。
  送信側の呼び出しを長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアで着信までのベル回数を少なく設定してください。

ATコマンドでモデムまたはワイヤレスコムポートの設定を変更する

通信を行う際に、毎回、ATコマンドでモデムまたはワイヤレスコムポートの設定をしなければいけない場合があります。このような場合は、以下の手順でATコマンドを設定することができます。

Windows 2000

1. **[コントロールパネル] - [電話とモデムのオプション] - [モデム]で変更したいモデムを選び、[プロパティ]を選ぶ。**
2. **[詳細]を選ぶ。**
3. **「追加設定」にATコマンドを入力する。**
   （例）ブザーを常時オフにするには、「ATM0」と入力する。（「0」は数字）
4. **[OK]を選び、再度[OK]を選ぶ。**

Windows XP

1. **[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション] - [モデム]で変更したいモデムを選び、[プロパティ]を選ぶ。**
2. **[詳細設定]を選ぶ。**
3. **「追加設定」にATコマンドを入力する。**
   （例）ブザーを常時オフにするには、「ATM0」と入力する。（「0」は数字）
4. **[OK]を選び、再度[OK]を選ぶ。**

お知らせ

ATコマンドについては、下記の項目をご覧ください。

Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[内蔵モデムコマンド一覧]

Windows XP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[内蔵モデムコマンド一覧]

携帯電話・PHS電話

以下の別売りの専用ケーブルでコンピューターと携帯電話またはPHS電話を接続すると、外出先などでも通信を行うことができます。

携帯電話接続ケーブル（PDC）	品番：CF-VCF31KJS （下図コネクター （B））
携帯電話接続ケーブル（cdmaOne）	品番：CF-VCF31CJS （下図コネクター （C））
PHS電話接続ケーブル（NTTドコモ・アステル）	品番：CF-VCF31PJS （下図コネクター （D））
PHS電話接続ケーブル（DDIポケット）	品番：CF-VCF31DJS （下図コネクター （E））

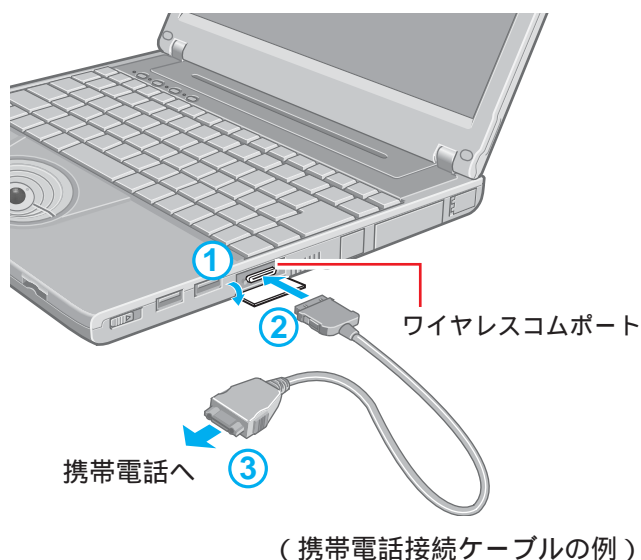
接続する

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる。（『取扱説明書』「操作を始める / 終わる」）

2 携帯電話またはPHS電話の電源を切り、専用ケーブルでコンピューターと携帯電話またはPHS電話を接続する。

① ワイヤレスコムポートのカバーを開けます。

② 携帯電話接続ケーブルまたはPHS電話接続ケーブルのコネクター(A)を、コンピューターのワイヤレスコムポートに接続します。

③ 携帯電話接続ケーブルのコネクター(B)または(C)、またはPHS電話接続ケーブルのコネクター(D)または(E)を、電話の外部接続端子に接続します。

（携帯電話接続ケーブルの例）

3 コンピューターの電源を入れ、ダイヤルアップ接続を行う。

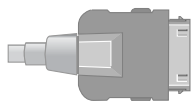
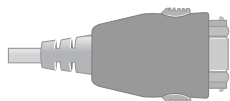
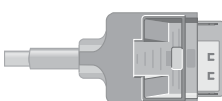
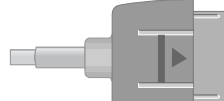
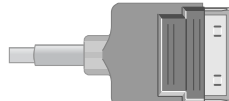
携帯電話やPHS電話専用のダイヤルアップ接続を行います。携帯電話やPHS電話専用のダイヤルアップ接続の接続先がない場合は、タスクトレイのネットセレクター（68ページ）のアイコン*をクリックしてネットセレクターを起動し、 を選んで、新しいダイヤルアップ接続を作成します。

* Windows 2000 :
　Windows XP :

お知らせ

以下のメニューで新しい接続を作成する際、「デバイスの選択」の「この接続で使用するデバイスの選択」で「Panasonic Wireless Comm Port II」を選んでください。

Windows 2000 :「ネットワークの接続ウィザード」
Windows XP :「新しい接続ウィザード」

専用ケーブルのコネクターの種類

コネクター（A）<コンピューターへ>	コネクター（B）<携帯電話へ>	コネクター（C）<携帯電話へ>	コネクター（D）<PHS電話へ>	コネクター（E）<PHS電話へ>
携帯電話接続ケーブル PHS電話接続ケーブル	携帯電話接続ケーブル（PDCに対応）	携帯電話接続ケーブル（cdmaOne専用）	PHS電話接続ケーブル（NTTドコモ・アステルに対応）	PHS電話接続ケーブル（DDIポケットに対応）

お知らせ

- 通信を行う際に、毎回ATコマンドでワイヤレスコムポートの設定をしなければいけない場合があります。このような場合は、ATコマンドを設定しておくと便利です。（51ページ）
- 携帯電話、PHS電話で正常に通信できない場合は、以下の手順で電波状況モニターⅡを起動して、再度接続してみてください。
  Windows 2000 ：[スタート] - [プログラム] - [Panasonic] - [電波状況モニターⅡ]
  Windows XP ：[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [電波状況モニターⅡ]

お願い

- PHS電話接続ケーブル（DDIポケット用）に付属しているフロッピーディスクのドライバーを使用しないでください。
  コンピューター本体にはPIAFS 32K、PIAFS 64K、無線モデム、無線インターネットなどに対応したドライバーがすでに入っています。
- 携帯電話やPHS電話の説明書もご覧の上、向きに注意してまっすぐに接続してください。決して無理に押し込まないでください。少しでも抵抗があるときは向きを変えて接続してみてください。
- コンピューター側のコネクターは、無理な力がかかると外れます。外れた場合、ロック機能が弱くなるなど、故障の原因になりますので、無理な力をかけないでください。
- 携帯電話やPHS電話のリングリジューム機能は動作しません。

取り外す

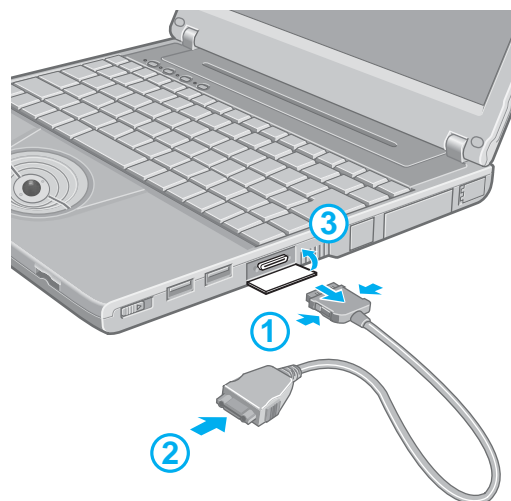
通信が終了したらケーブルを取り外しておいてください。

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる。（『取扱説明書』「操作を始める / 終わる」）

2 携帯電話またはPHS電話の電源を切り、専用ケーブルを取り外す。

① コネクター(A)の両サイドのロックボタンを押しながら、まっすぐに引き抜きます。

② <携帯電話接続ケーブルの場合>
コネクター(B)は両サイドのロックボタンを押しながら、コネクター(C)は「PUSH」部分を押しながら、まっすぐに引き抜きます。
<PHS電話接続ケーブルの場合>
コネクター(D)では上面の△マーク部分、コネクター(E)では「PUSH」部分を押しながら、まっすぐに引き抜きます。

③ カバーを閉じます。

お願い

無理に引き抜こうとしないでください。故障の原因になります。

専用ケーブルの取り扱い上のお願い

- コネクター部には、無理な力をかけないでください。故障の原因になります。
  持ち運ぶ際には必ずケーブルを取り外し、コネクター部に無理な力をかけないようご注意ください。
- 端子部分には触れないでください。接触が悪くなったり、故障の原因になります。
- 通信中は磁石などを近づけないでください。磁石などを近づけると、正常に通信できないことがあります。

● 利用できる電話機の種類と機能

電話機の種類[1]	通信モード	ダイヤルパラメーター[2]	最大通信速度[3]	発信	着信
携帯電話(PDC)	回線交換	#96(書式1)	9600 bps	○	○
	FAX通信	#96(書式1)	9600 bps	○	○
	パケット通信	#00(書式1)	9600 bps/28800 bps[4]	○	×
携帯電話(CDMA)[5]	回線交換	#14(書式1)	14400 bps	○	○
	FAX通信	#14(書式1)	14400 bps	○	○[6]
	パケット通信	#15(書式1)	14400 bps	○	×
	パケット通信	#64(書式1)	64000 bps/144000 bps[7]	○	×
	回線交換	#96(書式1)	9600 bps[8]	○	○
	パケット通信	#97(書式1)	9600 bps[8]	○	×
NTTドコモPHS	PIAFS 1.0	#32(書式1)	32000 bps	○	○
	PIAFS 2.0	#64(書式1)	64000 bps	○	○
	Analog PTE	#33(書式2)	33600 bps(32000 bps)[9]	○	×
	Analog PTE FAX	#33(書式2)	14400 bps	○	×
	ISDN PTE	#65(書式2)	64000 bps	○	×
アステルPHS	PIAFS 1.0	不要(書式1)	32000 bps	○	○
	Analog PTE	不要(書式2)	33600 bps(32000 bps)[9]	○	×
	ISDN PTE	不要(書式2)	64000 bps(32000 bps)[9]	○	×
αDATA	無線モデム	##1(書式1)	14400 bps	○	×
	無線インターネット	##2(書式1)	32000 bps	○	×
αDATA32	無線モデム	##1(書式1)	14400 bps	○	×
	無線インターネット	##2(書式1)	32000 bps	○	×
	PIAFS 1.0	##3(書式1)	32000 bps	○	○
αDATA64	無線モデム	##1(書式1)	14400 bps	○	○
	無線インターネット	##2(書式1)	32000 bps	○	×
	PIAFS 1.0	##3(書式1)	32000 bps	○	○
	PIAFS 2.1	##4(書式1)	64000 bps	○	○
	PIAFS 2.1(PTE)	##4(書式3)	64000 bps	○	×

*1 上記の表にあげた種類の電話機でも一部の機種で利用できない場合があります。
また、携帯電話、PHS電話を本機に接続するには、別売りの専用ケーブルが必要です。(☞52ページ)

*2 アクセスポイントに応じて特定の通信モードで接続する場合、**アクセスポイントの電話番号を指定する際に、上記の表のダイヤルパラメーターを下記の書式1〜3に従って追加してください。**
(次ページの電話番号は入力例で架空のものです。)

*3 プロトコルオーバーヘッドなどにより、実質通信速度は最大通信速度を下回る場合があります。

*4 最大通信速度が9600 bpsの電話機でも、ダイヤルアップネットワークなどでは接続速度は28800 bpsと表示されます。

*5 CDMA方式の携帯電話で、電話番号の末尾に"#xx"を付けると正常に動作しない電話機があります。その場合は、あらかじめ電話機側で通信モードを変更し、"#xx"を付けないでダイヤルしてください。

*6 PTE経由で接続する必要があります。

*7 CDMA 2000 1.X対応の電話機の場合、144000 bpsで接続します。ただし、基地局が144000 bpsでの通信に対応していない場合は、64000 bpsで接続します。

*8 CDMA方式の携帯電話で、9600 bpsでの通信に対応していない電話機があります。

*9 無線区間の制約により、(　)内の速度に制限されます。

(次ページへ)

<書式1>

0669081001#32 ダイヤルパラメーター（NTT ドコモ PHS で「PIAFS 1.0」の場合の例） アクセスポイントの電話番号	アステル PHS の場合、ダイヤルパラメーターの入力は不要です。

<書式2>

アナログまたはISDNのアクセスポイントに接続するときの書式です。PTEアクセスポイントを経由する必要があるため、下記のように設定します。

<書式3>

LAN機能

ケーブルテレビ、ADSL、光ファイバーなどを利用してインターネット接続を行う場合には、LANを使用します。ここでは、接続サービス会社（プロバイダー）に申し込んで回線工事等が終わったあと、必要となる設定について説明します。
また、家庭や会社にある複数のコンピューターや周辺機器などをネットワークで結ぶと、複数のコンピューター間でファイルやプリンターなどを共有することができます。

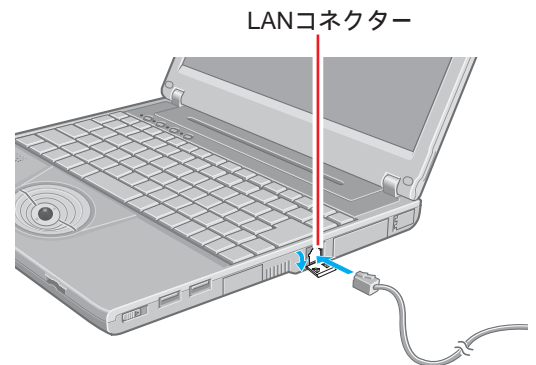
接続する

1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる（☞『取扱説明書』「操作を始める / 終わる」）

2 ケーブルを接続する

市販のLANケーブルで本機とネットワークシステム（サーバー、HUBなど)を接続します。

お願い

- ネットワークを正常に動作させるために100 m未満のカテゴリー5のツイストペアケーブルを使用してください。
- コネクター部分にカバーが付いているLANケーブルは、接続できない場合があります。事前にご確認ください。

3 電源を入れる

4 プロトコル等の各種設定を行う

接続サービス会社（プロバイダー）または、会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

Windows 2000

① [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワークとダイアルアップ接続]-[ローカルエリア接続]を選ぶ。

② [インターネットプロトコル（TCP/IP）]を選び、[プロパティ]を選ぶ。

③ 接続サービス会社（プロバイダー）またはネットワーク担当のシステム管理者の指示に従って設定する。

Windows XP

① [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ローカルエリア接続]を選ぶ。

② [インターネットプロトコル（TCP/IP）]を選び、[プロパティ]を選ぶ。

③ 接続サービス会社（プロバイダー）またはネットワーク担当のシステム管理者の指示に従って設定する。

お願い

- ネットワーク機能をお使いになる場合（LAN Wake Up機能使用時以外）、スタンバイ・休止状態機能は使用しないでください。データが正しく送受信できないことがあります。データの転送中などでもタイムアウト機能が働き、自動的にスタンバイまたは休止状態に入ることがありますので、LAN Wake Up機能をお使いにならないときは、下記の項目でタイムアウト機能を無効にしておくことをおすすめします。
  Windows 2000：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[電源設定]
  Windows XP：[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[電源設定]
- ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

お知らせ

● HUBユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワーク機能が使えない場合:

1 Windows 2000
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]を選ぶ。

Windows XP
[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]を選ぶ。

2 [ネットワークアダプタ]を選び、お使いのネットワークアダプター名をダブルクリックする。

3 [詳細設定]を選ぶ。

4 「プロパティ」で「Link Speed/Duplex Mode」を選び、「値」をお使いのネットワーク環境にあった通信速度に設定する。

5 [OK]を選び、「デバイスマネージャ」画面で[×]を選ぶ。

Windows XP

● CPUパフォーマンス低下により、LANの通信速度が極端に遅くなる場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンした後、次の操作を行ってください。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[CPU省電力設定]で[パフォーマンス優先]を選んで[OK]-[はい]選ぶ。
自動的に再起動します。

2 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]で、「電源設定」を[常にオン]に設定し、[OK]を選ぶ。

・この操作により、CPUの省電力機能が原因でLANの通信速度が極端に遅くなることは軽減されますが、これ以外の原因による通信速度の低下には効果はありません。

・この操作を行うとバッテリーでの駆動時間が多少短くなりますので、LANを使用しないときは[CPU省電力設定]で「バッテリー優先」(Windows標準)、[電源オプション]の「電源設定」を「ポータブル/ラップトップ」に戻しておくことをおすすめします。

LAN Wake Up機能

内蔵LANのLAN Wake Up機能により、ネットワーク上のコンピューターを使ってスタンバイ・休止状態からリジュームすることができます。

●LAN Wake Up機能を有効にする

Windows 2000

1. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]を選び、お使いのネットワークアダプター名をダブルクリックする。
3. [電源の管理]を選び、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」および「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。
4. [コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」からチェックマークを外し、[OK]を選ぶ。

Windows XP

1. [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]を選び、お使いのネットワークアダプター名をダブルクリックする。
3. [電源の管理]を選び､「このデバイスで､コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」および「電力の節約のために､コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。
4. [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」からチェックマークを外し、[OK]を選ぶ。

- 必ずACアダプターを接続して電力の供給が可能な状態にしてください。
- セットアップユーティリティでパスワードを設定して「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合でも、スタンバイ・休止状態からリジュームする際はセットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は必要ありません。
- LAN Wake Up機能は、以下の場合は動作しません。
  - Windowsの終了画面から電源を切った場合
  - 電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った場合（コンピューターがハングアップしたときなど）
  - ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直した場合
- スタンバイ状態からリジュームした後は、画面は消えたままです。キーボードまたはトラックボールを操作すると元の画面が表示されます。
- セットアップユーティリティの「LAN Wake Up機能」の設定に関係なく機能します。
- ネットワーク上の意図しないコンピューターからアクセスがあると起動する場合があります。

  Windows XP

  次の手順で、意図しないコンピューターからのアクセスによる起動を防ぐことができます。

  1. [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]で[ネットワークアダプタ]を選んでお使いのネットワークアダプター名をダブルクリックして[電源の管理]を選ぶ。
  2. 「管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックマークを付けて[OK]を選ぶ。

<無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ>

無線 LAN モジュール内蔵モデルでは、ケーブル配線の心配なくネットワークが利用できます。

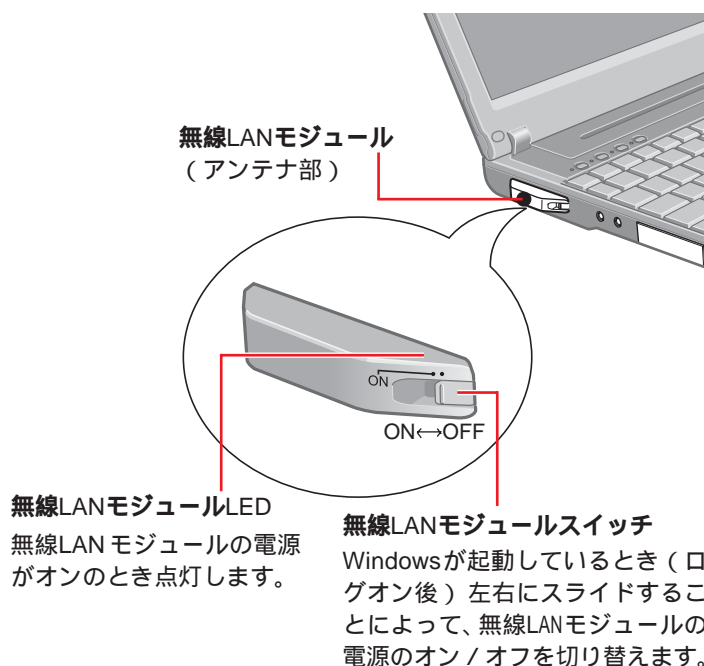
お願い

無線LAN用アンテナを経由して通信が行われます。アンテナ部を手でふさぐなど、電波の妨げになるようなことはしないでください。

お知らせ

- 通信速度や通信距離は、無線LAN対応機器や設置する環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。無線LAN対応の機器どうしは近い距離で使用することをおすすめします。
- 電子レンジを使用中に、通信速度が低下する場合があります。

無線LANモジュールLED
無線LAN モジュールの電源がオンのとき点灯します。

無線LANモジュールスイッチ
Windowsが起動しているとき（ログオン後） 左右にスライドすることによって、無線LANモジュールの電源のオン／オフを切り替えます。

使用上のお願い

● 無線LAN で使用できるチャンネル

本機では、1〜11チャンネル*を使用します。使用するチャンネルを確認してください。

アクセスポイントの中には、工場出荷時の設定として、無線LANが使用するチャンネルを12〜14チャンネルのいずれかとしているものがあります。このようなアクセスポイントをご利用になるには、お買い上げのアクセスポイントに付属の説明書をご覧になり、無線チャンネルを1〜11チャンネルのいずれかに設定してください。

* ワイヤレス通信においては、使用する周波数帯域を分割し、それぞれの帯域によって異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

● 無線LAN切換ユーティリティについて

無線LAN切換ユーティリティは、無線LANモジュールへの電源のオン／オフを制御するユーティリティです。絶対に無線LAN切換ユーティリティをアンインストールしないでください。無線LANモジュールスイッチのオン／オフの切り替えができなくなります。

● 無線LAN をお使いのときは「デバイスの使用状況」を「このデバイスを使わない」に設定しないでください

Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ネットワークアダプタ]から、お使いのネットワークアダプター名（無線LAN）を選び、「デバイスの使用状況」が「このデバイスを使わない（無効）」に設定されていると、無線LAN機能が動作しません。また、クライアントマネージャーを操作したとき、エラーが表示されることがあります。

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ネットワークアダプタ]から、お使いのネットワークアダプター名（無線LAN）を選び、「デバイスの使用状況」が「このデバイスを使わない（無効）」に設定されていると、無線LAN機能が動作しません。

- **無線LANの状態（有効／無効）を以下の項目で変更した場合は、無線LANモジュールスイッチのオン／オフも合わせて切り替えてください。**
  - Windows 2000 ：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワークとダイヤルアップ接続]-[ローカルエリア接続2]-[全般]
  - Windows XP ：[スタート]-[接続]-[ワイヤレスネットワーク接続]-[全般]

Windows 2000

- **クライアントマネージャで[無線を無効にする]を選ばないでください。**
  無線LANの有効／無効の切り替えは、[ネットワークとダイヤルアップ接続]-[ローカルエリア接続2]で行ってください。

設定する

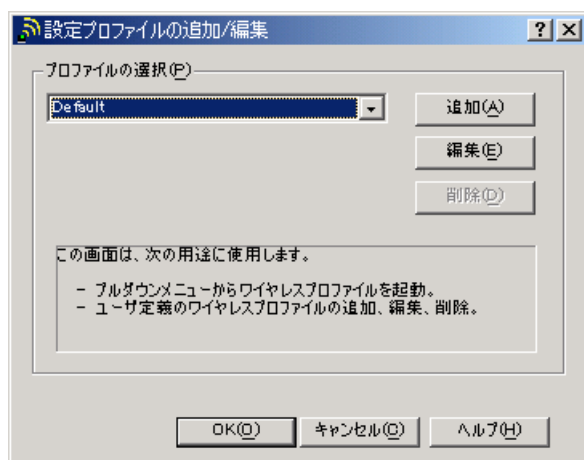
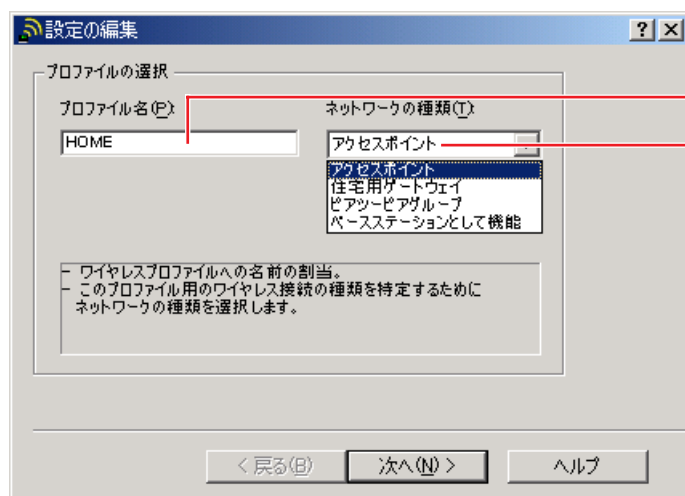
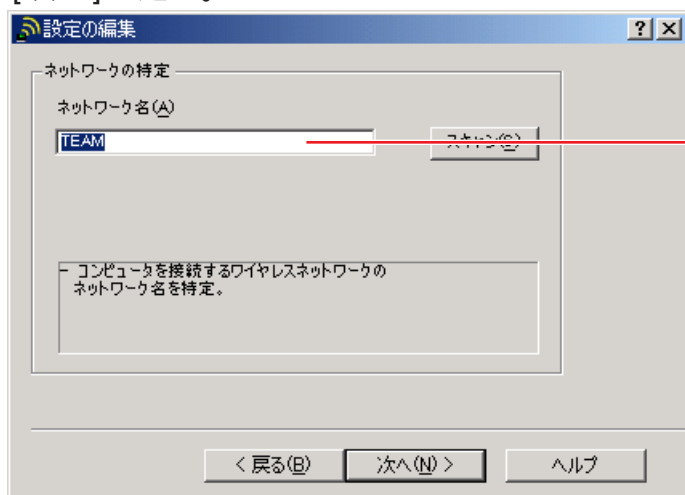
Windows 2000での設定方法

お買い上げ時は、無線LANモジュールのプロファイルが設定されていません。以下の手順に従ってプロファイルを設定してください。
ネットワーク環境に関する設定は、お使いのネットワークシステムにより異なります。

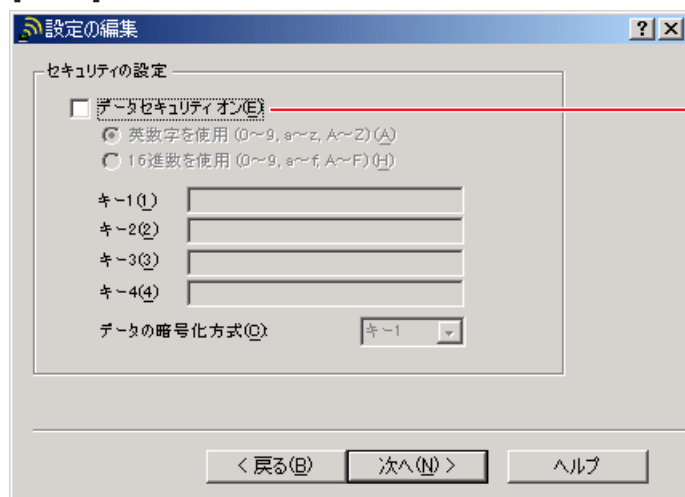
- 会社などでお使いの場合
  ・ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
- 推奨の無線LANアクセスポイント
  ・株式会社メルコ製（品番：WLA-L11G）

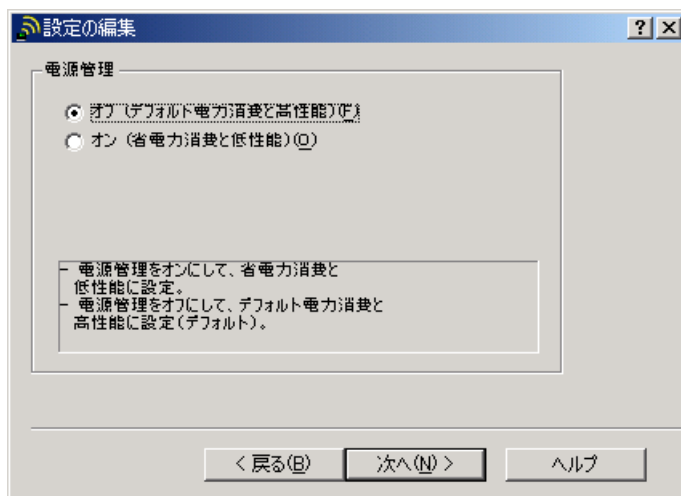
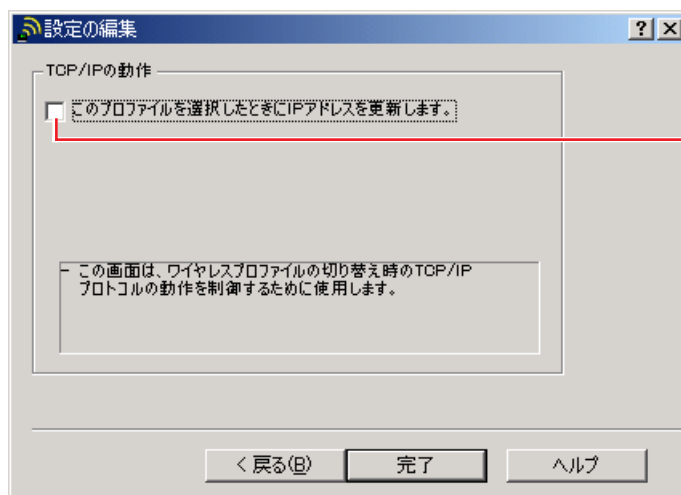
お願い

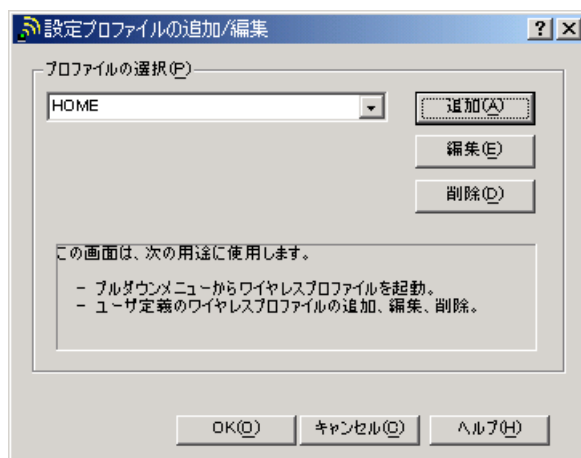
- プロファイルの設定画面を開いているときは、無線LANモジュールスイッチをオン／オフしないでください。
- プロファイルの設定は、Administratorでログオンして行ってください。
  また、必ず下記手順に従って行ってください。他の方法では、設定しないでください。

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[Wireless Network]を選ぶ。

画面はすべて一例です。

2 [追加]を選ぶ。

3 [次へ]を選ぶ。

[アクセスポイント]を選んだ場合は、アクセスポイントで設定したネットワーク名を設定してください。
[ピアツーピアグループ]を選んだ場合は、通信先のネットワーク名を設定してください。

4 [次へ]を選ぶ。

セキュリティを設定する場合は、チェックマークを付けて、英数字13桁、または16進数を表す英数字26桁でセキュリティキーを設定してください。
ネットワークへの侵入防止のため、セキュリティ機能を活用することをお勧めします。（セキュリティ機能で完全に防止できる保証はありません。）

5 **[次へ]を選ぶ。**

6 **[次へ]を選ぶ。**

ネットワークを切り替えるときに DHCP サーバーを利用して IP アドレスを更新する場合は、チェックマークを付けてください。

7 **[完了]を選ぶ。**

8 **[OK]を選ぶ。**

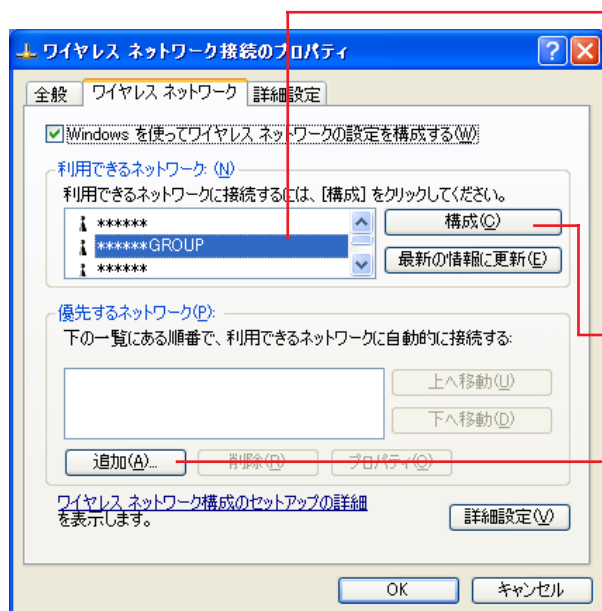
Windows XPでの設定方法

ネットワーク環境に関する設定は、お使いのネットワークシステムにより異なりますので、お買い上げのアクセスポイントの説明書を参照したりして、よくお確かめください。

●推奨の無線LANアクセスポイント

・株式会社メルコ製（品番：WLA-L11G）

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[ネットワーク接続]を選ぶ。

2 お使いの[ワイヤレスネットワーク接続]を前ボタンでクリックし、メニューから[プロパティ]を選び、[ワイヤレスネットワーク]を選ぶ。

画面はすべて一例です。

①「利用できるネットワーク」から接続するアクセスポイントを選ぶ。
推奨の無線LANアクセスポイント(品番：WLA-L11G)をお使いの場合、初期設定ではアクセスポイント名が“有線MACアドレス+GROUP”で表示されます。
接続するアクセスポイント名が表示されていない場合は、[最新の情報に更新]を選んでください。

＜既存のネットワークに接続する場合＞

②[構成]を選ぶ。

＜はじめてネットワークに接続する場合＞

②[追加]を選ぶ。

3 必要に応じて設定し、[OK]を選ぶ。

コンピューターどうしで接続する場合、チェックマークを付けます。

4 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「優先するネットワーク」に選んだ機器名が追加されていることを確認する。

5 [全般]-[インターネットプロトコル(TCP/IP)]-[プロパティ]を選び、TCP/IPのIPアドレスなど必要なプロトコルの設定を行った後、「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の画面で[OK]を選ぶ。

しばらくすると画面右下に「ワイヤレス ネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

6 アクセスポイントのIPアドレスなどを設定する。

設定方法は、お使いのアクセスポイントにより異なります。アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

<推奨の無線LANアクセスポイント（品番：WLA-L11G ）の場合>

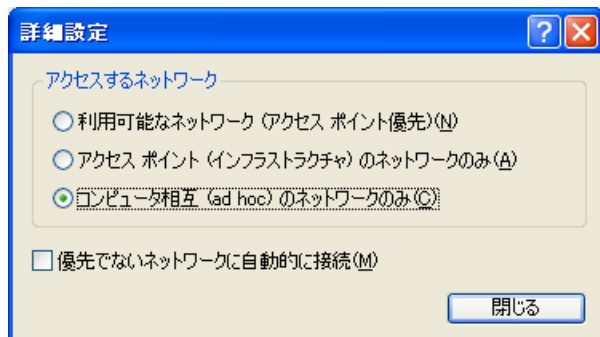
①アクセスポイントに付属のCDで「エアーステーションマネージャ」をインストールする。

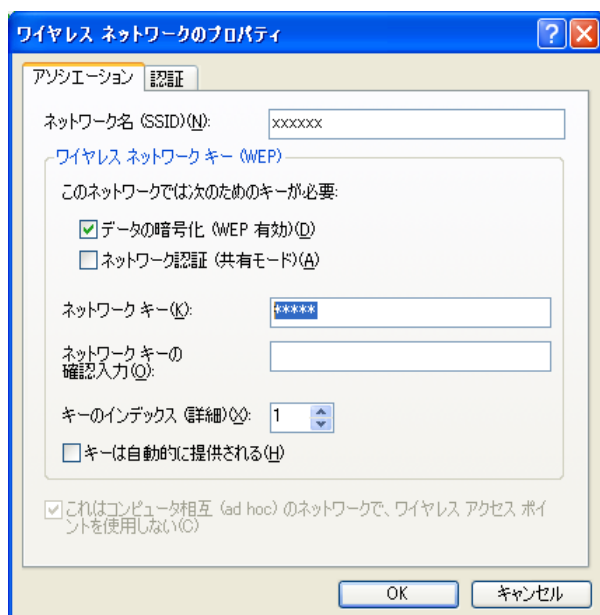
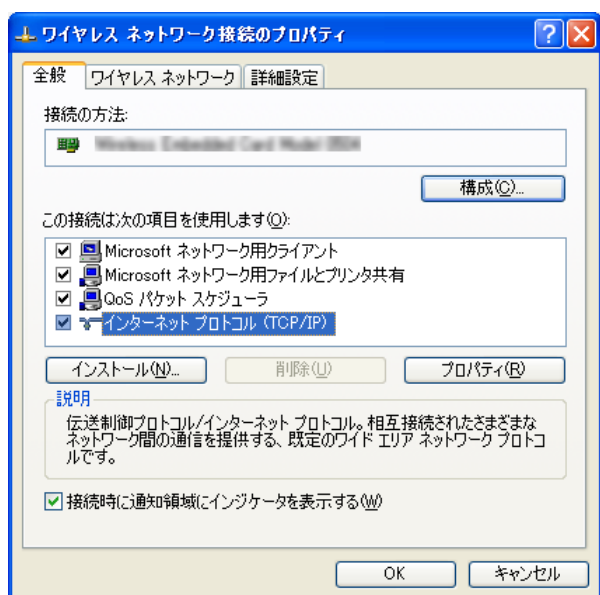
②エアーステーションマネージャを実行し、[編集]-[エアーステーション検索]を選ぶ。
アクセスポイントが表示されます。

③アクセスポイントを選択して、[管理]-[IPアドレス設定]でアクセスポイントIPアドレスを設定する。

④ブラウザが起動し、アクセスポイントの設定画面が表示されるので、必要な設定を行う。（ESS-IDやネットワークキーの設定を行った場合は、コンピューター側を再設定する必要があります。）

正しく動作しない場合 Windows XP

● [利用できるネットワーク]にアクセスポイントが表示されない

- アクセスポイントの無線LANが使用するチャンネルが1～11チャンネル以外になっている場合があります。有線LANを使って、チャンネル設定を本機が使用できるチャンネル（1～11チャンネル）にしてください。
- [ワイヤレスネットワーク接続]-[ワイヤレスネットワーク]-[詳細設定]で、「コンピュータ相互のネットワークのみ」が選択されている場合があります。その場合は、「利用可能なネットワーク」に変更してください。

● アクセスポイントにアクセスできない

- ネットワークキーの設定がアクセスポイントと一致していない場合があります。
  アクセスポイントのネットワークキー設定を確認し、再設定してください。

- コンピューター側のプロトコル設定が間違っている場合があります。
  [ワイヤレスネットワーク接続]-[プロパティ]-[全般]-[インターネットプロトコル(TCP/IP)]でIPアドレスなどのプロトコル設定を再設定してください。

  アクセスポイントの機種や設定によっては、あらかじめ本機のMACアドレスを登録しておかないとアクセスを受け付けない場合があります。この場合は、次の手順で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに付属の説明書に従って登録してください。

  1. [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選ぶ。
  2. 「cmd」と入力して[OK]を選ぶ。
  3. 「ipconfig /all」と入力し Enter を押す。
  4. 「ワイヤレスネットワーク接続」側の「Physical Address」と表示された行の12桁の英数字をメモしてから、「exit」と入力し、Enter を押す。

● **アクセスポイントのIPアドレスが間違っている**

アクセスポイントに付属の説明書に従い、アクセスポイントのIPアドレスを再設定してください。

無線LANの通信状態を確認する

Windows 2000

タスクトレイの アイコン を選んで「Wirelessクライアントマネージャ」をご覧ください。

Windows XP

タスクトレイの アイコン *をダブルクリックしてください。

* カーソルを重ねたとき、吹き出し文字に「ワイヤレスネットワーク接続」と表示されます。

FREESPOT で使う

FREESPOTとは、無線LANでインターネットにアクセスできる環境を開放し、だれでもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです*。
FREESPOTを利用するためには、無線LANの設定をFREESPOT用に設定する必要があります。
本機では、FREESPOTを簡単に利用できるようあらかじめFREESPOT用の設定が登録されています。
FREESPOTの設定場所や設定方法については、http://www.freespot.netをご覧ください。
* FREESPOT協議会（株式会社メルコ、松下電器産業(株)などが協賛）が推進しています。

Windows 2000

1 FREESPOTの設定を選択する。

① [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[Wireless Network]を選ぶ。
② [追加]を選び、任意のプロファイル名を入力し、「ネットワーク種別」に[アクセスポイント]を選ぶ。
③ [次へ]を選び、ネットワーク名を「FREESPOT」に設定し、[次へ]を選ぶ。
以降、画面の指示に従って操作してください。

2 タスクトレイのを前ボタンで選び、[FreeSpot]を選ぶ。

Windows XP

お知らせ

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- [構成]では、「データの暗号化」「ネットワークの認証」「キーは自動的に提供される」などのチェックマークをすべて外してください。

1 FREESPOTの設定を選択する。

① [スタート]-[接続]-[ワイヤレスネットワーク接続]を選ぶ。
② 「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面から[プロパティ]を選ぶ。
③ 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面で[ワイヤレスネットワーク]を選ぶ。
④ [Windowsを使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する]にチェックマークを付け、[利用できるネットワーク]で「FREESPOT」の[構成]を確認する。
「FREESPOT」のアンテナマークに、青い輪が表示されたら、接続できます。
⑤ [OK]を選ぶ。

2 タスクトレイのを前ボタンで選び、[FreeSpot]を選ぶ。

ネットセレクター機能

LAN、ADSL、モデムなどの接続方法を切り替えたり、プロバイダーやアクセスポイントなどの接続先を頻繁に切り替えたりするのに便利な機能です。
また、会社のLANと外出先のLANなど、複数のネットワークを使い分ける場合、各接続設定をネットセレクターに登録し、接続名を選ぶだけで切り替えることができます。

ネットワークへの接続方法や接続先を切り替える

1 Windows 2000

タスクトレイのをクリックする。

Windows XP

タスクトレイのをクリックする。

ネットセレクターが起動し、接続アイテム（LANおよび作成済みのダイヤルアップネットワーク）が表示されます。

- ネットワーク関係の情報を収集するのに時間がかかり、ネットセレクターの起動が遅くなることがあります。
- 同時に最大 8 個の接続アイテムを表示することができます。

ネットセレクター
LAN / WirelessLAN / LAN+Wirele... / hi-ho東京 / hi-ho大阪 / hi-ho名古屋 / hi-ho横浜 / hi-ho神戸

終了ボタン
機能ボタン
（☞ 69ページ）
デバイス名
接続アイテム
モデム名
既定の接続に設定されているダイヤルアップ接続には、このマークが付きます。

（機種や設定状況により表示される内容は異なります。）

2 接続アイテムを選ぶ。

選ばれた接続アイテムは背景がオレンジ色で表示されます。

- 「LAN」「Wireless LAN」「LAN+Wireless LAN」のアイテム：
  内蔵LANおよび内蔵無線LANのみ表示します。
  切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ダイヤルアップ接続のアイテム：
  機能ボタンのを選んだときに表示される画面*に存在するアイテムです。
  * Windows 2000 ：「ネットワークとダイヤルアップ接続」
  Windows XP ：「ネットワーク接続」

3 選択が終わったらネットセレクターを閉じる。

以降、インターネットエクスプローラーやOutlook Expressで通信を行う場合、ここで選択した接続アイテムで接続を開始します。

お知らせ

- 全機能を利用できるのは、Internet Explorer5.5/6.0、OutlookExpress5.5/6.0に限ります。
- インターネットエクスプローラやOutlook Expressでダイヤルアップ接続の規定値を変更した場合は、その設定が有効になります。
- ネットセレクターのウィンドウサイズを変更することはできません。
- Outlook Expressの「ツール」メニューの「アカウント」で「メール」の「プロパティ」を選び、「接続」の「このアカウントには次の接続を使用する」にチェックマークを付けている場合は、その接続が有効になります。
- <無線LAN（WirelessLAN）モジュール内蔵モデルのみ>
  「WirelessLAN」や「LAN+WirelessLAN」を選んだときに、「切り替えスイッチがオフになっています」と表示された場合は、LANモジュール本体の切り替えスイッチをONにしてください。
- Administratorまたはコンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合：
  - 「LAN」と「WirelessLAN」を統一して「LAN」と表示されます。「LAN」と「WirelessLAN」を切り替えることはできません。また、LANのデバイス名は表示されません。

  Windows XP
  - ドメインの設定を行っていない場合、ダイアルアップ接続の既定の接続アイテムを切り替えることはできません。

機能ボタン

タスクトレイからのメニュー

Windows 2000
タスクトレイのアイコンを前ボタンで選ぶと、メニューが表示されます。

Windows XP
タスクトレイのアイコンを前ボタンで選ぶと、メニューが表示されます。

ネットワークへの接続設定を登録する

複数の出張先でそれぞれのネットワークに接続するなど､ネットワーク環境を頻繁に切り替える必要がある場合､各ネットワーク環境の設定をネットセレクターに登録しておくことができます。
登録しておけば、ネットワーク設定を選ぶだけで設定が切り替わります。

お知らせ

- モデムによるダイヤルアップの場合、Windowsで新しい接続を追加すれば、ネットセレクターで接続先を切り替えることができます。
- ネットワークへの接続設定の登録・変更・削除は、Administratorまたはコンピューターの管理者の権限でログオンして、行ってください。
- ネットセレクターに登録される設定内容は以下のとおりです。これ以外の設定が必要なネットワークの場合は、次ページからの説明を参考にしてください。
  - IPアドレス
  - DNSアドレス
  - WINSアドレス
  - ゲートウェイ
  - プロキシ設定
  - LANおよび無線LANの有効・無効
- ネットワーク設定には、ネットワークに関する高度な知識が必要です。Windowsのネットワークに関する用語や意味を十分理解した上で本機能を使用してください。

1 LANまたは無線LANの設定を行う。

ネットワークに接続できる設定にしておいてください。（56ページ、59ページ）

2 Windows 2000

タスクトレイのを前ボタンで選び、［現在の設定を登録する］を選ぶ。

Windows XP

タスクトレイのを前ボタンで選び、［現在の設定を登録する］を選ぶ。

3 ネットワーク設定の名前を入力し、［OK］を選ぶ。

登録した設定名を変更する場合
タスクトレイからメニューを表示して［設定名を変更］を選び、変更する設定名を選んでください。
登録を削除する場合
タスクトレイからメニューを表示して［設定を削除］を選び、削除したい設定名を選んでください。
登録した設定を再現する場合
タスクトレイからメニューを表示し、［ネットワーク設定］から再現したい設定名を選んでください。

お知らせ

登録を削除した場合に削除されるのは、ネットセレクターへの登録だけです。他のソフトウェアによる接続や通信には影響ありません。

ネットセレクターに登録される項目・されない項目

ネットワークによっては、ネットセレクターに登録されない項目の設定が必要になる場合があります。ネットセレクターに登録される項目と登録されない項目は以下のとおりです。登録されない項目のうちのどの設定が必要かは、ご利用のネットワークのシステム管理者にお問い合わせください。

●「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面

1 Windows 2000

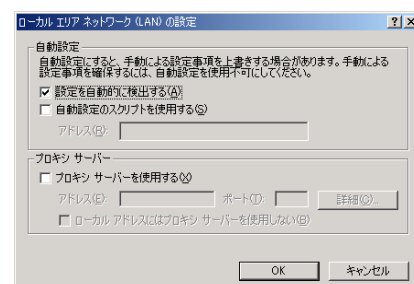
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[インターネットオプション]を選ぶ。

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[インターネットオプション]を選ぶ。

2 [接続]-[LAN の設定]を選ぶ。

登録される項目
- 「プロキシサーバー」のすべての項目

登録されない項目
- 「自動構成」のすべての項目

●「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面

1 Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選ぶ。

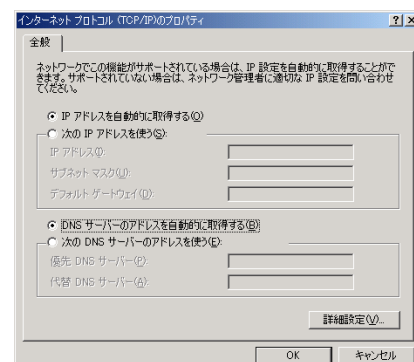
Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]を選ぶ。

2 「ローカルエリア接続」を選び、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]-[プロパティ]を選ぶ。

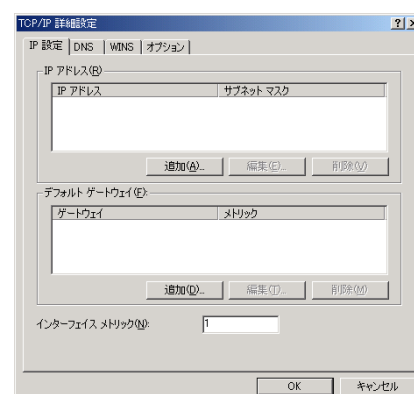
登録される項目
- [詳細設定]以外のすべての項目
  [詳細設定]については次をご覧ください。

Windows XP

登録されない項目
- [代替の構成]のすべての項目

●「TCP/IP 詳細設定」画面

「IP設定」：

登録される項目
- IPアドレス（DHCP有効・無効、サブネットマスク）
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイ、メトリック）

登録されない項目
- Windows XP 「自動メトリック」
- 「インターフェイス　メトリック」

「DNS」：

登録される項目

- DNSサーバーアドレス
- 「この接続のアドレスをDNSに登録する」

登録されない項目

- 「プライマリおよび接続専用のDNSサフィックスを追加する」および「プライマリDNSサフィックスの親サフィックスを追加する」
- 「以下のDNSサフィックスを順に追加する」
- 「この接続のDNSサフィックス」
- 「この接続のDNSサフィックスをDNS登録に使う」

「WINS」：

登録される項目

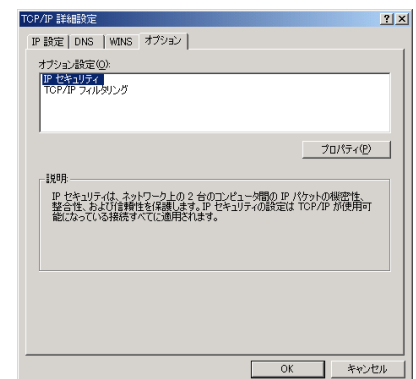
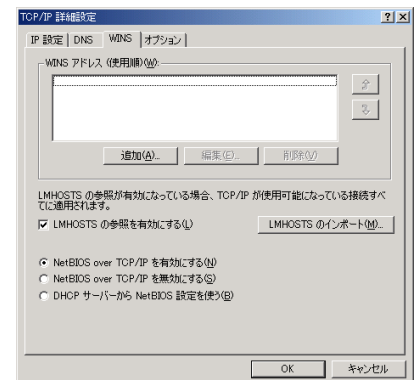
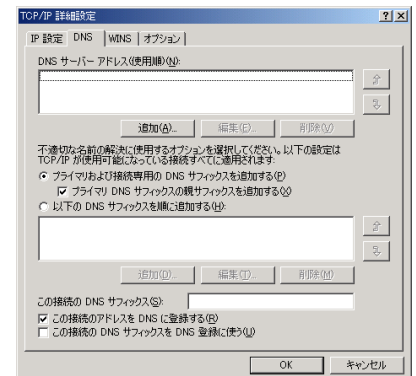
- WINSアドレス

登録されない項目

- WINSアドレス以外のすべての項目

「オプション」：

- すべての項目が登録されません。

セットアップユーティリティ

起動する

1 Windowsを終了して再起動する。

2 コンピューターの起動後すぐ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されている間に F2 を押す。

- [パスワードを入力してください]が表示されたら
パスワードを入力してください。
「詳細」メニューまたは「セキュリティ」メニューを変更する場合は、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
（ユーザーパスワードを入力した場合、「詳細」メニュー、「起動」メニューの内容と「セキュリティ」メニューの一部の内容は変更できません。）

お知らせ

- F2 を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。その場合、Windowsを終了して再度やり直してください。
- 終了の方法（☞ 78ページ）

キー操作

F1	: ヘルプが画面に表示されます。
← →	: カーソルが左右に移動します。「メイン」「詳細」「セキュリティ」「省電力管理」「起動」「終了」の各メニューを選ぶときに使用します。
↑ ↓	: カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。
F5 F6	: 各項目の設定値を選ぶときに使用します。
Enter	: ↑ ↓ で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニュー画面が表示されます。
F9	: 各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワードを除く）にします。（ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、このキーは無効です。）
F10	: 設定を保存して終了します。
Esc	: 「終了」メニューが表示されます。

お知らせ

日時設定のとき、Tab でカーソルの移動ができます。

メインメニュー

機種品番:	CF-xxxxxx
製造番号:	xxxx
BIOS バージョン:	Vx.xxLxx
システム時間:	[xx:xx:xx]
システム日付:	[xxxx/xx/xx]
メモリーサイズ:	xxx MB
プライマリーマスター:	xx GB
プライマリースレーブ:	なし
NumLock:	[オフ]
トラックボール:	[有効]
スピーカー:	[有効]
ディスプレイ:	[外部ディスプレイ]
拡張表示:	[無効]

設定項目

(＿ : 工場出荷時の設定)

項目	設定
NumLock*1	オン オフ
トラックボール	無効 有効
スピーカー	無効 有効
ディスプレイ *2	外部ディスプレイ 内部 LCD 同時表示
拡張表示 *3	無効 有効

*1 Windows起動後は動作しません。

*2 ここでは、Windowsが起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」や「同時表示」を選んでいても、すべての情報が内部LCDに表示されます。
Windows起動後は、次の項目で設定した内容が有効になります。
Windows 2000 [コントロールパネル] - [画面] - [設定] - [詳細] - [Lynx3DM+]
Windows XP [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [Lynx3DM+]

*3 「拡張表示」を「有効」から「無効」に変更した場合、Windows画面の拡張表示は自動的に無効([オフ])になりません。無効にするには、次の項目を[オフ]に設定してください。
Windows 2000 [コントロールパネル] - [画面] - [設定] - [詳細] - [Lynx3DM+] - [ストレッチ]
Windows XP [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細] - [Lynx3DM+] - [ストレッチ]

詳細メニュー

デバイス構成:	[BIOS]
シリアルポート:	[自動]
パラレルポート:	[自動]
モード:	[ECP]
モデム:	[有効]
LAN:	[有効]
LAN Boot 機能:	[有効]
LAN Wake Up 機能:	[無効]
レガシーUSB:	[有効]
USBフロッピーブート:	[有効]

設定項目

（ __ :工場出荷時の設定）

項目		設定
デバイス構成		BIOS OS
シリアルポート *1		無効 有効 自動
	I/O IRQ	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3
パラレルポート *2		無効 有効 自動
	モード	単方向 双方向 ECP EPP
	I/O IRQ	378/IRQ7 278/IRQ5 3BC/IRQ7
モデム		無効 有効
LAN		無効 有効
	LAN Boot 機能 *3	無効 有効
	LAN Wake Up 機能 *3*4	無効 有効
レガシー USB		無効 有効
	USB フロッピーブート *5	無効 有効

*1 拡張コネクターにシリアル機器を接続した場合のみ有効です。（別売りのシリアル変換ケーブルが必要）
「I/O IRQ」は、「シリアルポート」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。

*2 拡張コネクターにパラレル機器を接続した場合のみ有効です。（別売りのI/Oボックスが必要）
「モード」は、「パラレルポート」が「自動」または「有効」に設定されているときのみ設定できます。
「I/O IRQ」は、「パラレルポート」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。

*3 「LAN」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。
無線LANモジュールやLANカードには働きません。

*4 Windows起動後は、ここでの設定に関係なく機能します。（☞ 58ページ）

*5 「レガシーUSB」が「有効」に設定されているときのみ設定でき、別売りのUSBフロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03JS）にのみ働きます。
他のフロッピーディスクドライブから起動（ブート）することはできません。

セキュリティメニュー

起動時のパスワード:	[有効]
SDによる起動:	[禁止]
▸登録されたSDの解除:	[Enter]
▸スーパーバイザーパスワード設定:	[Enter]
Boot Menu表示:	[有効]
ハードディスク保護:	[無効]
ユーザーパスワード保護:	[保護しない]
▸ユーザーパスワード設定:	[Enter]

お知らせ

ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したとき：
- 「起動時のパスワード」と「ユーザーパスワード設定」以外は、表示されません。
- ユーザーパスワードは「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されているときのみ変更できます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

設定項目

（__ :工場出荷時の設定）

項目	設定
起動時のパスワード	無効 有効
SDによる起動 *1	禁止 許可
SDのセット方法 *1*2	セットしたまま セットして抜く
登録されたSDの解除 *1	サブメニュー表示
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
Boot Menu表示	無効 有効
ハードディスク保護 *3	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定 *3	サブメニュー表示

*1 SDメモリーカードが登録されているときのみ表示されます。
ただし、「起動時のパスワード」が「無効」に設定されているときは、「SDによる起動」および「SDのセット方法」は設定できません。

*2 「SDによる起動」が「許可」に設定されているときのみ設定できます。

*3 スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは設定できません。

省電力管理メニュー

電源スイッチ:	[オフ]
Fn+F7/Fn+F10 キー:	[有効]

設定項目

(__: 工場出荷時の設定)

電源スイッチ *	スタンバイ オフ
Fn+F7/Fn+F10 キー	無効 有効

* Windows 起動後は、ここでの設定は無効になります。起動後は、以下の項目の設定に従って省電力が働きます。
Windows 2000
[コントロールパネル] - [電源オプション]
Windows XP
[コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション]

起動メニュー

フロッピードライブ*1
ハードディスクドライブ
USB CDドライブ*1
LAN

*1 フロッピーディスクドライブまたはＣＤドライブが接続されていない場合でも表示されます。起動できるドライブ（パナソニック製）は以下のとおりです（推奨）。
- ＵＳＢ接続フロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03JS）
- ＵＳＢ接続ＣＤドライブ（品番：ＫＸＬ-RW20AN, KXL-RW21AN, KXL-RW31AN, KXL-RW32AN, KXL-840AN）

工場出荷時の設定は、[フロッピードライブ]→[ハードディスクドライブ]→[USB CDドライブ]→[LAN]の順です。
- 優先順位を1つ上げる場合は、↑↓でデバイスを選択してF6を押す。
- 優先順位を1つ下げる場合は、↑↓でデバイスを選択してF5を押す。

お知らせ

オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Press ESC to enter Boot First Menu」が表示されているときにEscを押すと、デバイスを選択する「起動時のメニュー」が表示されます。セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定を変更すると、「起動時のメニュー」の表示も変更されます。
「起動時のメニュー」は、「セキュリティ」メニューの「Boot Menu 表示」が「有効」に設定されているときのみ表示させることができます。

終了メニュー

設定を保存して終了
設定を保存しないで終了
デフォルト設定する
設定を戻す
設定を保存する

リフレッシュバッテリー
ハードディスク　リカバリー/消去

設定項目

設定項目	内容
設定を保存して終了	設定内容を保存して終了します。
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了します。
デフォルト設定する *2	標準設定にします。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。
設定を保存する	設定内容を保存します。
リフレッシュバッテリー	バッテリーをリフレッシュします。（☞ 20ページ）
ハードディスク　リカバリー/消去 *2*3	ハードディスクの内容を消去します。または工場出荷時の状態に戻します。実行する前に、必ず『取扱説明書』の「再インストールのしかた（ハードディスクリカバリー）」または「ハードディスクの内容をすべて消去する」をお読みください。

*2 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。

*3 外付けHDD（品番：CF-VHD02AS）が接続されていて、スレーブ/マスター切り替えスイッチがマスター（MASTER）に設定されている場合、この項目は表示されません。

ネットワーク接続や通信ソフトウェアについて

通信ソフトウェア使用中に省電力機能（スタンバイまたは休止状態）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下したりすることがあります。この場合は、コンピューターを再起動してください。
省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。
ネットワーク環境でお使いのときは、以下の手順で[システムスタンバイ]と[システム休止状態]を「なし」に設定しておくことをおすすめします。

Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[電源設定]

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[電源設定]

Windows 関連ファイルについて

市販のWindows CD-ROMに収められているファイルは、以下のフォルダーにインストールされています。

Windows 2000

c:¥winnt¥cdimage

Windows XP

c:¥windows¥docs、c:¥windows¥dotnetfx、c:¥windows¥i386、c:¥windows¥support、c:¥windows¥valueadd

特殊モードの設定について

Windows 2000

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [画面] - [設定] - [詳細] - [Lynx3DM+]で[デュアルアプリケーション]と[デュアルビュー]の設定を[オフ]にして使用してください。（工場出荷時は[オフ]に設定されています。）
これらの機能は、本機では正常に動作いたしません。

Windows XP

[スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [Lynx3DM+]で[デュアルアプリケーション]と[デュアルビュー]の設定は、[オフ]に設定してお使いください。（工場出荷時は[オフ]に設定されています。）
これらの機能は、本機では正常に動作いたしません。

回復コンソールについて Windows XP

回復コンソールをインストールしておくと、Windows XPが起動しなくなった場合などに、コマンドプロンプトを利用してCHKDSKなどが実行できます。以下の手順でインストールしてください。起動時にスタートアップオプションメニューとして、回復コンソールが選択できるようになります。

1. [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選ぶ。
2. 「c:\windows\i386\winnt32.exe /cmdcons」と入力して[OK]を選ぶ。
   画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

回復コンソールの概要については、「ヘルプとサポートセンター」を参照してください。
1. [スタート] - [ヘルプとサポート]を選ぶ。
2. [検索]に「回復コンソール」と入力し、➡を選ぶ。

DMIビューアー

本機はDMI(Desktop Management Interface)の規格に準拠しています。
CPUやメモリーをはじめ、本機がサポートしているシステムの情報を知りたいときに使います。

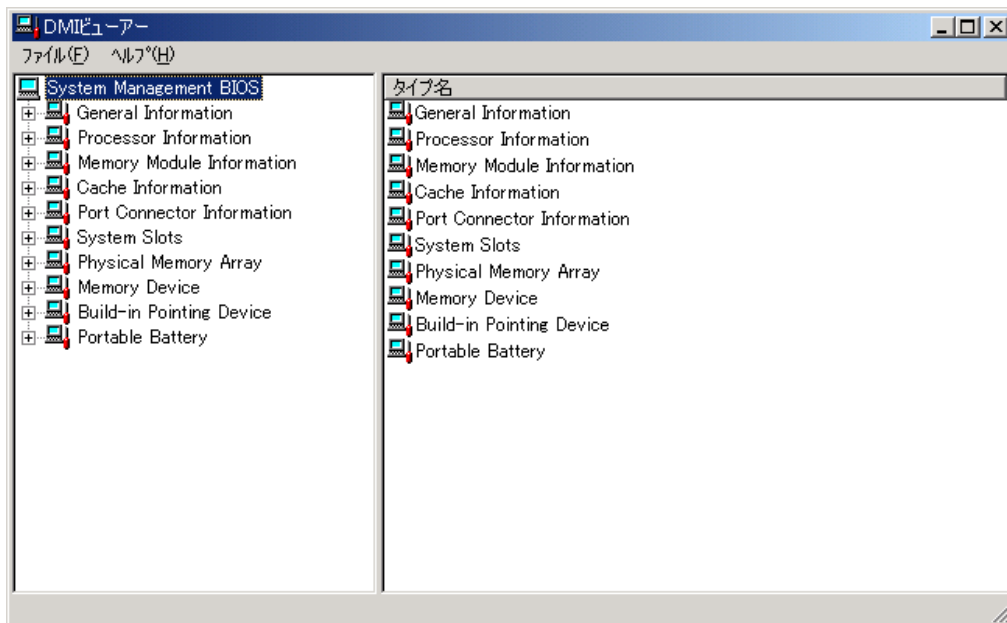
DMIビューアーを起動する

Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[DMIビューアー]を選ぶ

Windows XP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[DMIビューアー]を選ぶ

以下のような画面が表示されます。
項目をクリックすると詳細情報が表示されます。

情報ファイルを保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。
DMIビューアーを起動し、保存したい情報を表示します。

1 ●表示されている項目を保存する場合

「ファイル」メニューから「表示中のデータを保存」を選ぶ。

●すべての項目を保存する場合

「ファイル」メニューから「すべてのデータを保存」を選ぶ。

2 フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]を選ぶ

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211　キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251　システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271　Check date and time settings	システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。
0280　起動を3回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからＯＳが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200　ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212　キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230　システムＲＡＭエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231　シャドウＲＡＭエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232　拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 拡張ＲＡＭエラー。アドレス行：nnnn	メモリーの故障または仕様に適合しないRAMモジュールを使用しています。
0250　システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。ご相談窓口にご相談ください。
0260　システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270　リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0　システムキャッシュエラーです。－キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5　DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

トラブルが発生した場合は、以下の方法を試してみてください。
アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

● 電源を入れたとき

電源表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
USB 機器を接続していると、本機が起動しない	一部のUSB機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	81ページ
Windowsの起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。（73ページ） F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。） ● ストリーミング再生時などに動作が遅くなる場合は、画面の色数を変更してください。
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 Windows 2000 [コントロールパネル] - [日付と時刻] Windows XP [コントロールパネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション] - [日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、が表示されない	セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル] - [電源オプション] - [詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows XP [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key.」などが表示される	● システムを起動できないフロッピーディスクがドライブにセットされたままになっていることを意味します。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ● 一部のUSB機器を接続していると、左記メッセージが表示されることがあります。USB 機器を取り外すかセットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシー USB」を「無効」に設定してください。 ● それでも左記メッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。

● 電源を入れたとき（つづき）

Administratorまたはコンピューターの管理者のパスワードを忘れた	Windows 2000 再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。 Windows XP パスワードリセットディスク（☞『取扱説明書』「はじめて使うとき」）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。 パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。
Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	● 簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 を選ぶと、隠れていたメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート] - [設定] - [タスクバーと[スタート]メニュー]を選び、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外して試してください。 ● 次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。 Windows 2000 1 [マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を前ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 2 [ツール]から[チェックする]を選ぶ。 3 「チェックディスクのオプション」で必要に応じた項目を選び、[開始]を選ぶ。 Windows XP 1 [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を前ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 2 [ツール]から[チェックする]を選ぶ。 3 「チェックディスクのオプション」で必要に応じた項目を選び、[開始]を選ぶ。 ● 起動時、「Panasonic」画面が消えたときに F8 を押し続け、「拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

● 終了時

Windowsが終了できない	● USB 機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● プロバイダーへの接続は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LANは正しく設定されていますか？（☞ 56ページ）設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LANの設定については、接続サービス会社（プロバイダー）や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

●スタンバイ・休止状態機能

スタンバイ・休止状態に入ることができない	USB機器を接続していると、スタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合があります。この場合は、Windowsの動作が正常であればUSB機器を取り外してください。それでもスタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。
リジュームできない	電源スイッチを4秒以上スライドしませんでしたか？　電源スイッチを4秒以上スライドすると、強制終了します。この場合、保存していないデータは消えます。

●バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。

●トラックボール

トラックボールが動作しない	● セットアップユーティリティで「トラックボール」を「有効」に設定していますか？ ● 外部マウスのドライバーがインストールされている場合、トラックボールが使えないことがあります。 ● トラックボールのドライバーがインストールされていますか？

●キーボード

日本語が入力できない	ツールバーの表示が「あ」になっていますか？表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。 半角/全角 を押して日本語入力モードにしてください。
数字しか入力できない	1ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、テンキーモードになっています。解除するには、 NumLk を押します。
アルファベットが小文字で入力したいのに大文字で表示される	Aランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。 解除するには、 Shift + Caps Lock を押します。
欧文特殊文字（ßàçïなど）や記号が入力できない	以下の手順で文字コード表を表示し、フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。 Windows 2000 [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表] Windows XP [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]
Windows 2000 リジューム後、文字が正しく入力できない	Alt 、 Ctrl 、または Shift を押したまま、スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わると、リジュームしたときにこれらのキーが押された状態になります。これらのキーを1回押すと、元の状態に戻ります。

● 画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ・以下の項目で「CRT」を「オン」に設定していますか？ Windows 2000 [コントロールパネル]-[設定]-[詳細]-[Lynx3DM+] Windows XP [コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]-[詳細設定]-[Lynx3DM+] ● Fn + F3 で表示先を切り替えてください。 ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、リジュームしたときに外部ディスプレイが接続されていないと、内部LCDには表示されないことがあります。この場合は、外部ディスプレイを接続するか、Fn + F3 を押してください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって、ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 この場合、電源スイッチをスライドすると元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn + F3 を押してディスプレイの表示先を切り替えてみてください。 ● Fn + F3 を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。
バッテリーパックで使用すると、ACアダプター接続時に比べて画面が暗い	Fn + F2 を押して輝度を調整してください。ただし、輝度を上げると、バッテリー駆動時間が短くなります。輝度は、ACアダプターが接続されている状態と接続されていない状態で別々に設定できます。
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
カーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続し直してください。 ● ⊞、U の順に押し、→←↑↓で[再起動]を選んで Enter を押してください。 ● キーボードで操作できないときは「ハングアップした」（☞ 89ページ）をご覧ください。
画面に緑・赤・青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑・赤・青色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	解像度・色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	Fn + F3 で表示先を切り替えてみてください。

● 画面表示（つづき）

スクリーンセーバーを設定していると、リジューム時にエラーが発生する	スクリーンセーバーが起動しているときにコンピューターが自動的にスタンバイ状態に入ると、エラーが起こることがあります。その場合はスクリーンセーバーを停止するか、スクリーンセーバーの種類を変更してください。
ウィンドウが消えた	起動したはずのウィンドウが見えなくなった場合、画面切換ユーティリティにより別の画面に切り替えられてしまったことも考えられます。別の画面に切り替えて確認してください。（☞ 22ページ）
Windows XP タスクトレイのアイコンが隠れて見えない	タスクバーを前ボタンでクリックし、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

● ディスクの操作

フロッピーディスクの読み込みも書き込みもできない	● フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか？ ● フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ● フロッピーディスクは正しく初期化(フォーマット)されていますか？ ● フロッピーディスクが破損していないか確認してください。
フロッピーディスクへの書き込みができない	フロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか？ ライトプロテクトタブ 書き込み可能な状態　書き込み禁止の状態
フロッピーディスクを初期化する方法がわからない	Windows 2000 [マイコンピュータ]-[3.5インチFD（A:）]-[ファイル]-[フォーマット]を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットを開始してください。 Windows XP [スタート]-[マイコンピュータ]-[3.5インチFD（A:）]-[ファイル]-[フォーマット]を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットを開始してください。
ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	● ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。 ● ハードディスクの空き容量は足りていますか？ ● ハードディスクの内容が壊れている場合があります。ご相談窓口にご相談ください。
上記以外の問題が起きる	そのほかのドライブやメディアで試してみてください。

● サウンド

音が聞こえない	● Fn + F4 または Fn + F6 を押してミュートを解除してみてください。 ● セットアップユーティリティで「スピーカー」が「無効」になっていませんか？
Fn + F5 または Fn + F6 を押しても音量が変わらない	Windowsのサウンド機能が働いていない場合、🔈 や 🔊 は表示されても音量は変わりません。
音が乱れる	Fn とのキーの組み合わせによる操作（☞ 3ページ）をしたとき、音が乱れることがあります。再生を停止し、再生し直してください。

● ネットワーク

ネットワークに接続できない	● セットアップユーティリティで「モデム」、「LAN」または「無線LAN」を「有効」に設定していますか? ● ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 ● スタンバイ・休止状態機能を使って起動したときは、コンピューターの再起動が必要です。 ● I/Oアドレス、割り込みレベル、メモリーアドレスは正しく設定されていますか？他の周辺機器と競合していないことを確認してください。 ● HUBとの接続に10BASE-T用ケーブルまたは100BASE-TX用ケーブルを使用していますか？また、正しく接続されていますか？ ● HUBユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワークが使えない場合、HUBユニットにあわせた速度の設定を行ってください。（☞ 57ページ）
外部のWWWが見えない	● プロキシサーバーなどのアドレスを調べてください。 ● ネットワーク担当のシステム管理者に設定を確認してもらってください。
電子メール、WWW、イントラネットが見えない（TCP/IPを使用している場合）	● LANケーブルは正しく接続されていますか？ ● IPアドレスの設定、サブネットマスクの設定、デフォルトゲートウェイの設定を確認してください。
インターネットでホームページを見ることができない	電話回線に接続している場合： ● プロバイダーとの契約はお済みですか？ まだの場合は契約してください。 ● TCP/IPの設定はお済みですか？ まだの場合は、プロバイダーの指示に従って設定してください。 CATV、ADSL、光ファイバー、または LAN 経由で接続している場合： ● プロバイダーとの契約、またはネットワークのシステム管理者への届け出はお済みですか？ まだの場合は、プロバイダーとの契約、またはネットワークのシステム管理者への届け出を行ってください。 ● プロトコル等の設定はお済みですか？ まだの場合は、プロバイダーまたはネットワークのシステム管理者の指示に従って設定してください。 無線 LAN で接続している場合： Windows 2000 ● プロファイル等の設定はお済みですか？ まだの場合は、設定してください。 Windows XP ● お使いのアクセスポイントによっては、本機のMACアドレスの登録が必要な場合があります。この場合は、お使いのアクセスポイントの取扱説明書に従って登録してください。（☞ 65 ページ）
<無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ> 無線 LAN を使用することができない	● 無線 LAN モジュールスイッチをオンにしていますか？ ● セットアップユーティリティで「無線LAN」を「有効」に設定していますか? Windows 2000 ● [コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]で、Wireless Client Manager がインストールされていることを確認してください。 インストールされていない場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で「c¥util¥cl_mgr¥setup.exe」を実行してインストールしてください。
<無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ> 無線 LAN の有効または無効の設定ができない	● Administratorまたはコンピューターの管理者の権限でログオンしましたか? ● ネットワークの設定画面 * やネットセレクターで、無線 LAN の有効または無効の設定を繰り返していると、これらの設定ができなくなる場合があります。この場合は、コンピューターを再起動してください。 * Windows 2000 ：「ネットワークとダイヤルアップ接続」 Windows XP ：「ネットワーク接続」
Windows XP ネットセレクターで作成したはずのダイヤルアップ接続がない	コンピューターの管理者以外のドメインユーザーとしてログオンした場合、新しいダイヤルアップ接続の作成やそのコピーを行っても、ログオフするとそれらのダイヤルアップ接続は削除されます。コンピューターの管理者の権限でログオンして新しいダイヤルアップ接続の作成を行ってください。

● 周辺機器の接続

ドライバーのインストール中にエラーが発生する	PCカードや各種周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OSに対応したドライバーを使用してください。未対応のドライバーを使用すると不具合が発生することがあります。ドライバーについては、購入された周辺機器の製造元にお問い合わせください。
周辺機器が動作しない	スタンバイ･休止状態からリジュームした後、外部マウス、モデム、PCカード、その他のデバイスが認識されない事があります。この場合、コンピューターを再起動してください。
接続したマウスのカーソルが動かない	● マウスケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● 接続しているマウスに対応したドライバーをインストールする必要があります。 ● ドライバーをインストールしても動作しない場合： セットアップユーティリティで「トラックボール」を「無効」に設定してください。
PCカードが使えない	● PC Card Standard規格に準拠したPCカードを使っていますか？ ● PCカードドライバーまたは他のデバイスドライバーをインストールした後は、必ずコンピューターを再起動してください。 ● PCカードで使われているI/Oポートが正しいか（競合していないか）確認してください。 ● PCカードに付属の取扱説明書をお読みください。または、PCカードの製造元にご相談ください。 ● PCカードを取り付け直してください。（☞ 32ページ） ● お使いのOSに対応したドライバーを使用していますか？
使えるRAMモジュールがわからない	☞ 42ページ
RAMモジュールが正しく増設できたかどうかわからない	RAMモジュールが認識されているかどうかは、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで確認できます。RAMモジュールが認識されていない場合は、コンピューターの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。
RAMモジュールが認識されない	● RAMモジュールの方向を確認して正しくスロットに取り付けてください。 ● RAMモジュールの仕様を確認してください。（☞ 42 ページ）
割り込み要求(IRQ)、I/Oポートアドレス等、アドレスマップがわからない	以下の項目で[表示]メニューから[リソース（種類別）]を選ぶと、現在のそれぞれのアドレスマップを表示することができます。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ] Windows XP [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]
USB機器が動作しない	● ドライバープログラムをインストールしましたか？ ● 機器メーカーに問い合わせてください。 ● デバイスマネージャーで!が表示される場合は､抜き挿ししてください｡再び表示された場合は、再起動してください。

● セットアップユーティリティ

「パスワードを入力してください」が表示された	ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
「詳細」メニューと「起動」メニューの項目が変更できない	スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。
「セキュリティ」メニューの一部の項目が変更できない	スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。
(F9) が動作しない	スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。
「ハードディスク リカバリー/消去」が表示されない	● スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。 ● 外付けHDD（品番：CF-VHD02AS）が接続されている場合、スレーブ／マスター切り替えスイッチがスレーブ（SLAVE）に設定されていることを確認してください。 ● 上記を確認しても表示されない場合は、リカバリー用データの領域が削除されている可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。

● SDメモリーカード

SDメモリーカードのセキュリティ機能が使えない	セキュリティ機能を使用するにはSDカード設定を行う必要があります。（☞ 36 ページ）

● ユーザーの簡易切り替え機能 Windows XP

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない（PDFファイルが正しく印刷されないなど） ・画面の設定ができない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

● その他

ハングアップした	● MPEGファイル再生中に画面の切り替え([コマンドプロンプト]の全画面表示など)を連続して行わないでください。 ● 入力待ち画面などが別のウィンドウで隠れていませんか？ (Alt) + (Tab) で表示されている画面を確認してください。 ● (Ctrl) + (Shift) + (Esc) を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 Windows 2000 ：[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除] Windows XP ：[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]
携帯電話、PHSを使用してファクス送信できない	Windowsに標準で搭載されているファックス機能は、携帯電話、PHSでのファクス送受信をサポートしていません。携帯電話、PHSをサポートした市販のファクスアプリケーションソフトをご使用ください。

PCJ0105A_2K/XP